

2015年度 「産業社会と人間」 授業資料集

はじめに

1. 授業で配布したプリント・教材集
2. 実施前に作成していた授業展開案（一部）
3. 2015年度に担当された先生のインタビュー（抄録）

はじめに

この資料集は、大阪府立長吉高等学校で、2015年度に実施された「産業社会と人間」の授業の資料集です。

この資料集は、2015年度の授業の内容をアーカイブし、今後の授業の検証や改善に資することを目的に作られています。

この資料集に収録されている授業内容や配布物については、無断での複製や使用は認められません。資料についてのお問い合わせは、大阪大学臨床哲学研究室までご連絡ください。

編者：金和永（大阪大学大学院文学研究科 臨床哲学研究室 博士後期課程）

1.授業で配布したプリント・教材集

—— 4月～夏休みまで ——

- ・ 校内探検
- ・ ころころスケール
- ・ わたしを表す文字
- ・ 人に話を聞いてもらえないとき
(1年2組) .
- ・ 「聴く」ことからはじめよう1.
- ・ わたし発見.
- ・ うれしい言葉.
- ・ インタビューしてみよう.
- ・ 「がんばってるね」.
- ・ ころころのかさ
- ・ 理想のメニューを考える
 - 「理想のメニューを考えよう」
授業プリント1.
 - 「理想のメニューを考えよう」
授業プリント2.
 - 「理想のメニューを考えよう」
授業プリント3.
- ・ 「私のすきなうた」
- ・ 産社 最終アンケート用紙.

—— 9月 ——

- ・ 「夏休み」.
- ・ 「夏休み」ルビあり.
- ・ ゲストをむかえて.
- ・ ゲストへの手紙 .

—— 10月～2月 ——

- ・ 絵本をつくる
 - ストーリーのリレーをしてみよう.
 - 絵本案.
 - キャラクターを考えよう.
 - 絵本感想.
 - 改訂版保育園を訪問して.
 - ふりかえりシート.

1年生

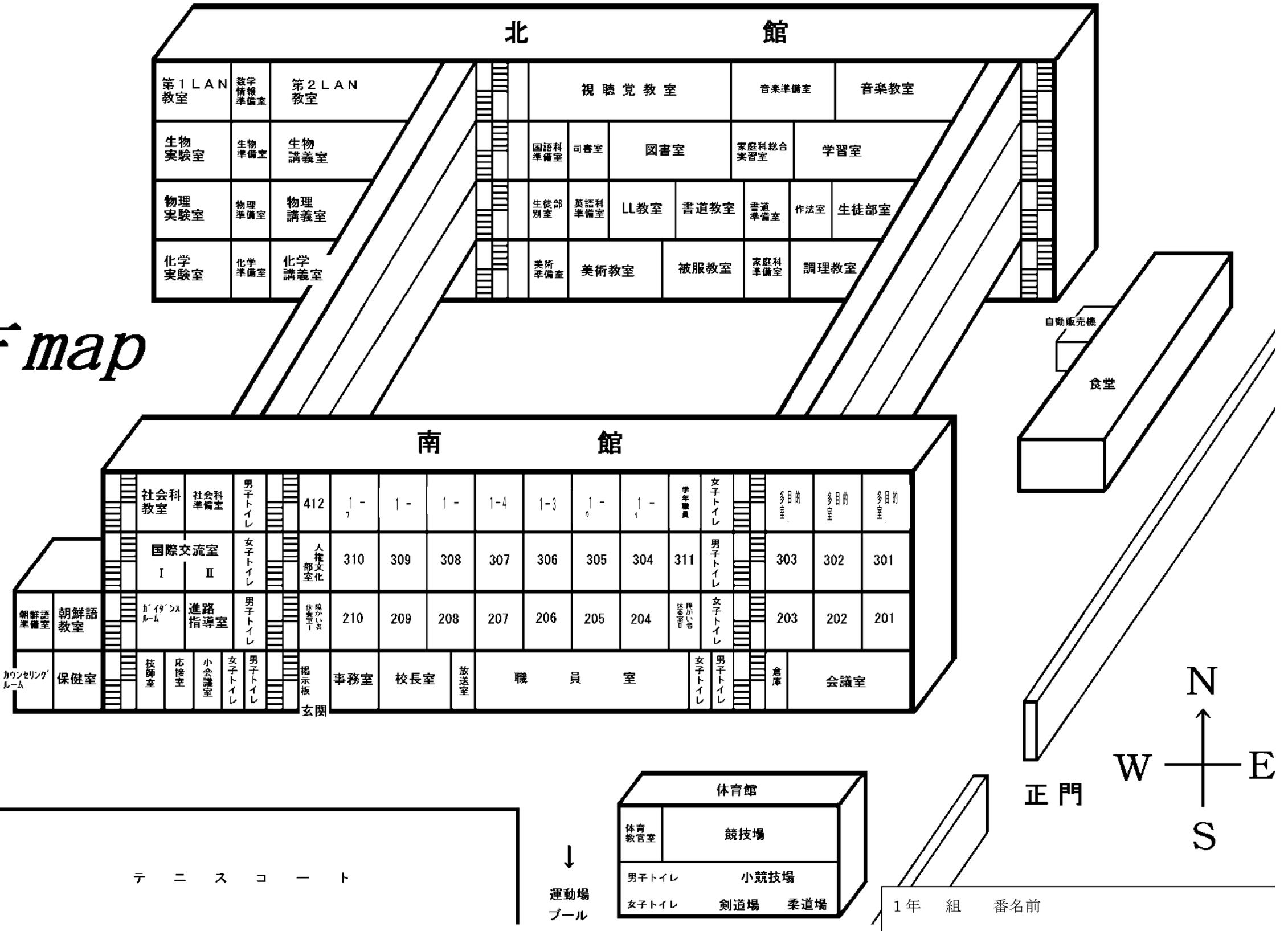
駐輪場

ゴミ集積場

駐輪場

駐輪場

長吉map





1

問 地図中の①～⑬の場所を、赤○でかこみ、番号を書きなさい。

① () 教室 → ② 学年職員室

→ ③ 図書室 本を読んだり、借りたりできる教室

→ ④ 学習室 () 火曜日と木曜日の放課後

→ ⑤ 音楽教室 () の授業でつかう

→ ⑥ 視聴覚教室 () や L H R などをつかう

→ ⑦ 第1 LAN/第2 LAN () の授業でつかう

→ ⑧ 書道教室 () の授業でつかう

→ ⑨ 生徒部室

→ ⑩ 美術教室 () の授業でつかう

→ ⑪ 国際交流室 () の授業でつかう

→ ⑫ 朝鮮語教室 () の授業でつかう

→ ⑬ 保健室 ケガした時や体調が悪くなった時にいくところ

カウンセリング室 相談したいことがあるときにいくところ

→ ⑭ 事務室 証明書の発行などを申し込むときにいくところ

→ ⑮ 職員室 → ⑯ 食堂



→ () 教室 ゴール!

ねん
1年

くみ
1組

ばん
番

なまえ
名前



さんぎょうしゃかい にんげん
産業社会と人間

こうないたんけん
校内探検

NO

1

問 地図中の①～⑬の場所を、赤○でかこみ、番号を書きなさい。

① () 教室

→ ② 国際交流室 () の授業でつかう

→ ③ 朝鮮語教室 () の授業でつかう

→ ④ 保健室 ケガした時や体調が悪くなった時にいくところ

カウンセリング室 相談したいことがあるときにいくところ

→ ⑤ 事務室 証明書の発行などを申し込むときにいくところ

→ ⑥ 職員室 → ⑦ 食堂

→ ⑧ 美術教室 () の授業でつかう

→ ⑨ 書道教室 () の授業でつかう

→ ⑩ 生徒部室

→ ⑪ 音楽教室 () の授業でつかう

→ ⑫ 視聴覚教室 () やLHRなどでつかう

→ ⑬ 第1LAN/第2LAN () の授業でつかう

→ ⑭ 図書室 本を読んだり、借りたりできる教室

→ ⑮ ^{がくしゅうしつ} 学習室 () 火曜日と木曜日の^{ほうかご}放課後

→ ⑯ ^{がくねんしよくいんしつ} 学年職員室 → () 教室 ゴール!

^{ねん}1年3組 ^{ばん}番 ^{なまえ}名前



^{さんぎょうしゃかい} 産業社会と人間 ^{にんげん}

^{こうないたんけん} 校内探検

NO

1

問 ^{ちすちゆう} 地図中の①～⑯の場所を、^{ばしよ}赤○でかこみ、^{あか}番号を書きなさい。

① () 教室 → ② ^{がくねんしよくいんしつ} 学年職員室

→ ③ ^{としよしつ} 図書室 本を^よ読んだり、^か借りたりできる^{きょうしつ}教室

→ ④ ^{がくしゅうしつ} 学習室 () 火曜日と木曜日の^{ほうかご}放課後

→ ⑤ ^{おんがくきょうしつ} 音楽教室 () の^{じゅぎょう}授業でつかう

→ ⑥ ^{しちようかくきょうしつ} 視聴覚教室 () や^{ロングホームルーム}L H Rなどでつかう

→ ⑦ ^{だいいちらん} 第1 LAN/^{だいにらん}第2 LAN () の^{じゅぎょう}授業でつかう

→ ⑧ ^{しやうどうきょうしつ} 書道教室 () の授業でつかう

→ ⑨ ^{せいとぶしつ} 生徒部室

→ ⑩ ^{びじゆつきょうしつ} 美術教室 () の授業でつかう

→ ⑪ ^{こくさいこうりゆうしつ} 国際交流室 () の授業でつかう

→ ⑫ ^{ちやうせんごきょうしつ} 朝鮮語教室 () の授業でつかう

→ ⑬ ^{ほけんしつ} 保健室 ケガした^{とき}時や^{たいちやう}体調が^{わるく}悪くなった^{とき}時にいくところ

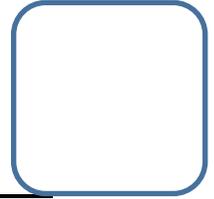
カウンセリング室 そうだん 相談したいことがあるときにいくところ

→ ⑭ 事務室 しょうめいしょ はっこう もうしこ 証明書の発行などを申し込むときにいくところ

→ ⑮ 職員室 しょくいんしつ → ⑯ 食堂 しょくどう

→ () 教室 ゴール!

ねん くみ 1年6組 ばん なまえ 番 名前



さんぎょうしゃかい にんげん 産業社会と人間

こうないたんけん 校内探検

NO

1

問 ちずちゅう 地図中の①～⑯の場所を、あか 赤○でかこみ、ばんごう か 番号を書きなさい。

① () 教室

→ ② こくさいこうりゅうしつ 国際交流室 () の授業でつかう

→ ③ ちょうせんごきょうしつ 朝鮮語教室 () の授業でつかう

→ ④ ほけんしつ 保健室 ケガした時や体調とき たいちょう わるくが悪くなった時ときにいくところ

カウンセリング室 そうだん 相談したいことがあるときにいくところ

→ ⑤ 事務室 じむしつ しょうめいしょ はっこう もうしこ 証明書の発行などを申し込むときにいくところ

→ ⑥ 職員室 しょくいんしつ → ⑦ 食堂 しょくどう

→ ⑧ びじゅつぎょうしつ 美術教室 () の授業じゅぎょうでつかう

→ ⑨ しょどうぎょうしつ 書道教室 () の授業でつかう

→ ⑩ せいとぶしつ 生徒部室

→ ⑪ おんがくぎょうしつ 音楽教室 () の授業でつかう

→ ⑫ 視聴覚教室 () やLHRなどでつかう

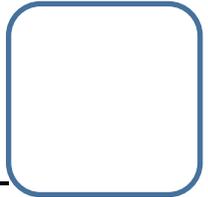
→ ⑬ 第1LAN/第2LAN () の授業でつかう

→ ⑭ 図書室 本をよんだり、かりたりできる教室

→ ⑮ 学習室 () 火曜日と木曜日の放課後

→ ⑯ 学年職員室 → () 教室 ゴール!

ねん 1年7組 ばん 番 なまえ 名前

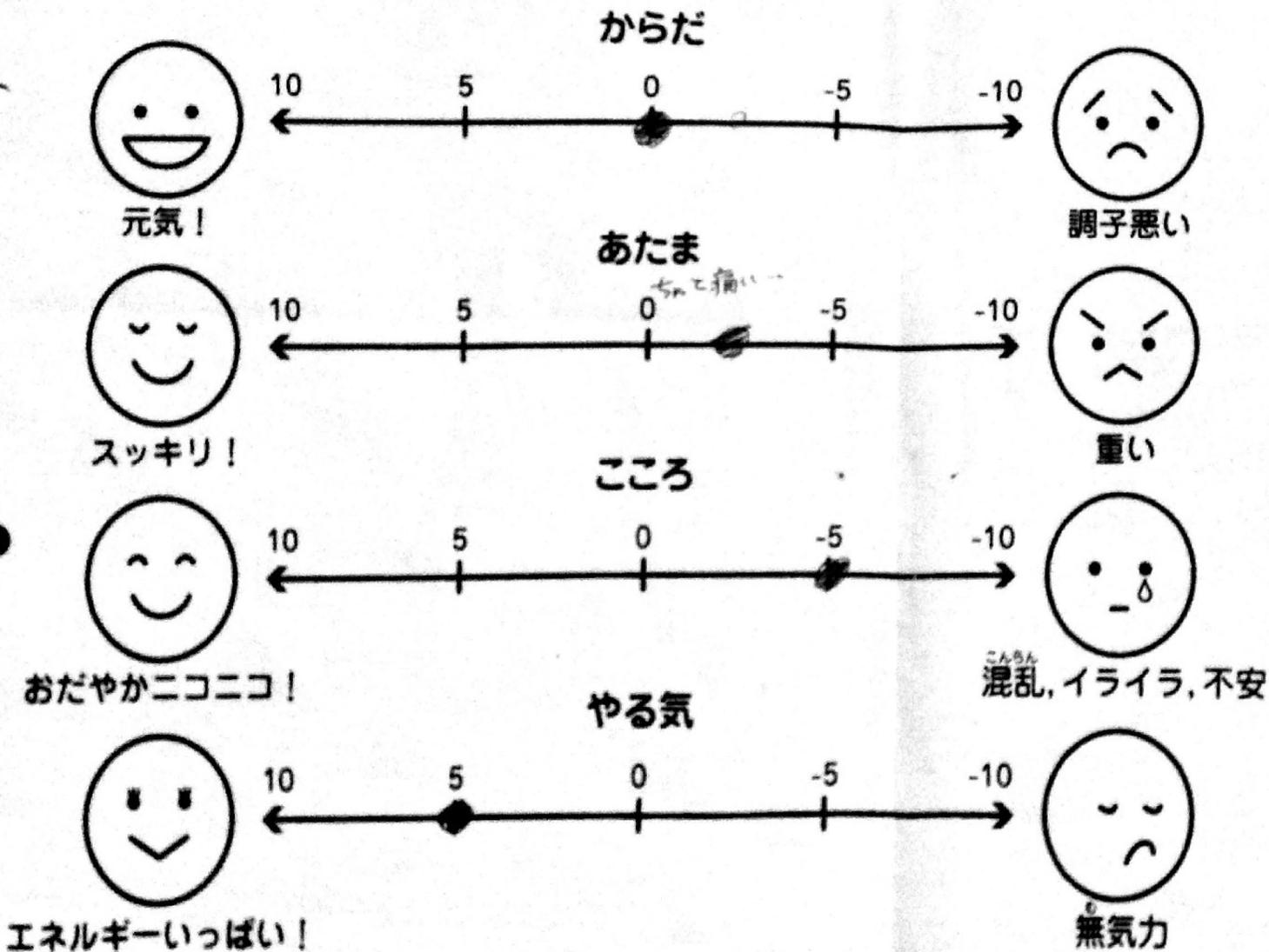


こころスケール

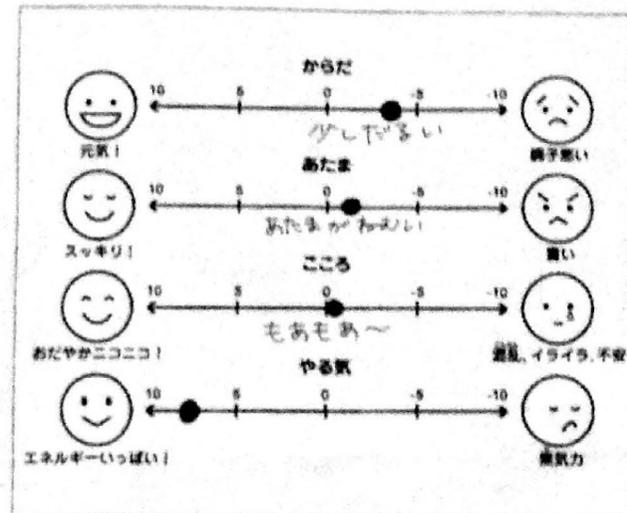
最近、あなたはどんな調子ですか？ 体は元気ですか？ 頭はスッキリしていますか？ こころはどんな感じでしょう？

勉強や活動、いろいろなことへのやる気はわいてきますか？

ここ1週間をふり振り返り、自分の「からだ」「あたま」「こころ」「やる気」について確認してみましょう。そして、「どんな調子かな」と自分に聞いてみて、いまの状態を言葉にできるよだったらスケールに書きこんでみましょう。



例



感じたこと・考えたこと

実施日	年 組 番
名前	

「コミュニケーション」と「コミュニティ」のちがい

 話すこと

 話をしている人のことをおたがいに
リスペクト（尊重）して、

イコオリティ（平等）がある

ヴィクトリアさんは「コミュニティ」を求めていたが
わたしたちは「コミュニケーション」だと思っていた。

話を聞いてもらえないと、どういう気持ちになりますか？

悲しい 興味をもたれていない イライラ 失望

話を聞いてくれない人と話したくない

とりあえず聞いてほしい かなしい

Respect（尊重）してほしい

Cncentrated（集中力）がなくなる

なんともおもわない

おあいこだと思う（自分も話をきかないことがあるから）

【 今日のひとこと 】

若干、イライラした。あと、コミュニティとコミュニケーションの違いを知れてよかった。

最初ぐだったけど、その事できづいたこともたくさんあったと思う

Yeah

いろいろ考えた

どうでもよかった。いちいちきれることがわからなかった。

いちいち同じ事を何回も言わんでいい。

質問はその人の話がおわってからすべき。

じっくり かんがえれた

じぶん中心になっている気がする。いいたいことをいいたいときにいっている気がする

コミュニティとコミュニケーションの違いが分かった。今日やった授業をちゃんと覚えようと思ったし、コミュニティとコミュニケーションを理解しながら、話したり、聞いたりしようと思った。

意見があんまり言えなかったから次がんばる

一人がしゃべりつづけているから、みんなしゃべれないと思った

なにもない

みんなが意見をいえるようになったらいいと思った

意見をゆわんひと、ゆうひと、ひとそれぞれやけど、気をわるくするたいどをとっていたのは、はらたった。でも、いけんはきけてよかった。

I feel good...
Thank you your patience

みんなの本音がきけてよかった

いろんなことを学んで、ちょっと楽しかったです。

意見きけて良かった
楽しくはなかった。



Talking with everyone makes me feel more comfortable.

Yes Yapg

良かった。

とくに～～

相手のなまえ

1回目 聞き手

役割カード①

あなたは、話しをしている人を見ずに、別のことをしてください。

話しには、適当に 反応してください

2回目 話し手 (1分間)

面接を思い出して、長吉高校を志望した理由を話してください。

3回目 聞き手

役割カード③

あなたは、話しをしている相手をしっかり見て、できるだけ、話

うなずき、相手の話に積極的に反応してください。

4回目 話し手 (1分間)

「私は・・・ではじまる文」を読んで、自己紹介してください。

《ロールプレイをして感じたこと》 _____

相手のなまえ

1回目 **話し手** (1 分間)

面接を思い出して、長吉高校を志望した理由を話してください。

2回目 **聞き手**

役割カード②

あなたは、^{あし く}足を組み、つまらなそうに、あくびをしたりしながら
^{はなし}話をきき、^{じゃまくさ}つまらなそうに、あるいは^{えらそう}偉そうに、^{うえ めせん}上から目線で
^{あいて はなし はんのう}相手の話に反応してください。

3回目 **話し手** (1 分間)

^{わたし}「私は・・・ではじまる文」を^{ぶん}読んで、^{よんで}自己紹介して^{じこしょうかい}ください。

4回目 **聞き手**

役割カード③

あなたは、^{はなし}話をして^{あいて}いる相手を^{みて}しっかり見て、できるだけ、^{はなし}話に
^{あいて はなし せっきょくてき はんのう}うなずき、相手の話に積極的に反応してください。

《ロールプレイをして感じたこと》

「聴く」とは・・・

◇先生のロールプレイをみて気づいたこと

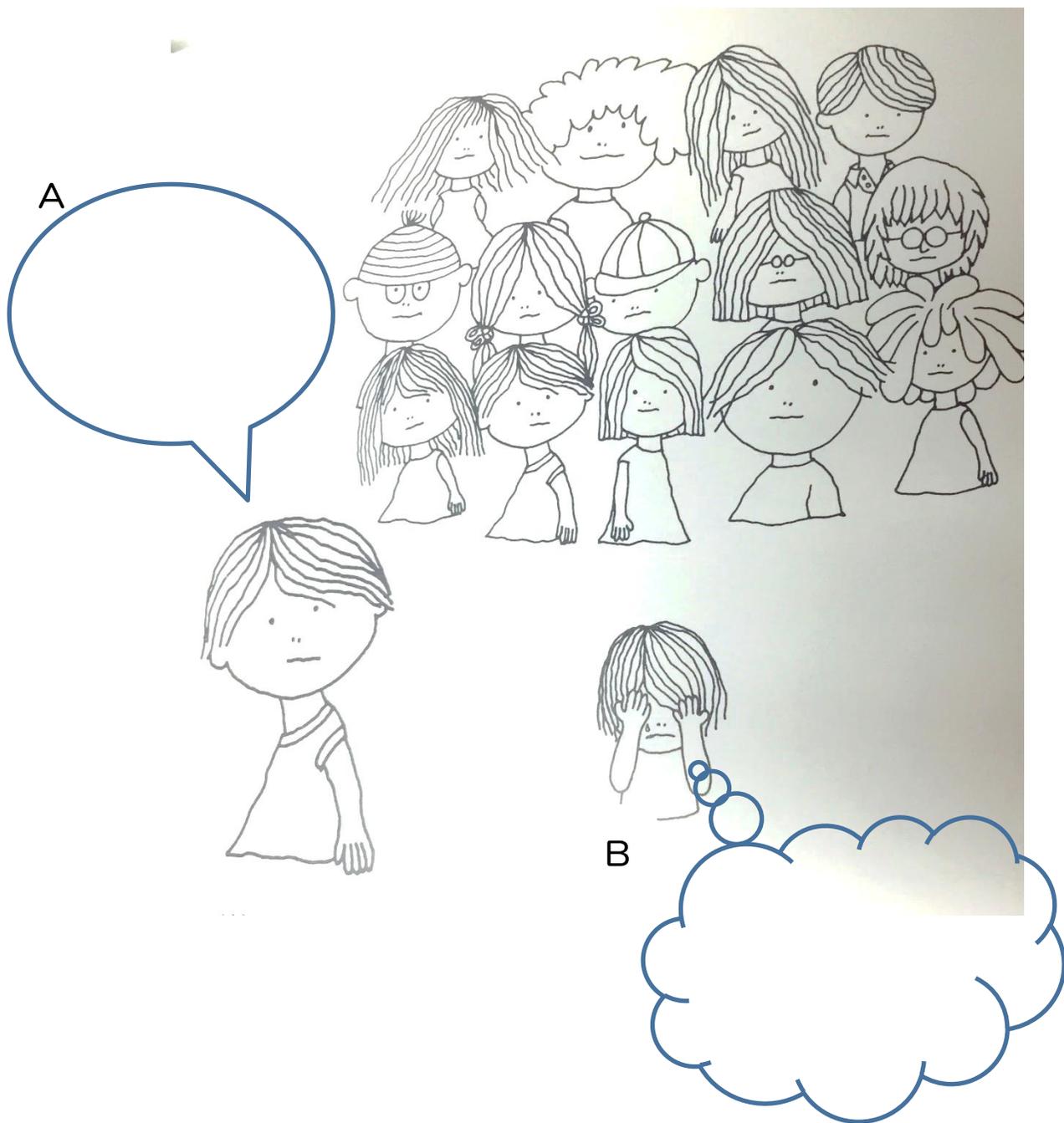
◇話し手が話しやすい聴き方とは・・・



話し手が大切にされていると感じる聴き方とは・・・

1 こんなとき、A友たちにどんな「ことば」を言ってあげたいですか？

B友だちにその「ことば」を言われたらどんな気持ちになりますか？



あなたが、友だちや家族「言いたい！」「言われたい！」
と思っている「ことば」をあげてみましょう！

※「こんなことを言われたらうれしいだろうな！」と思うことを書いてみましょう！

A

に言いたい！

に言われたい！



気づいたこと

A large, empty rounded rectangular box with a blue border, intended for writing the student's realization.

みんなで 出し合って、言われてうれしい「ことば」を
できるだけたくさんあげてみましょう！目標（ ）個以上

わたしのグループのベスト3を決めましょう！



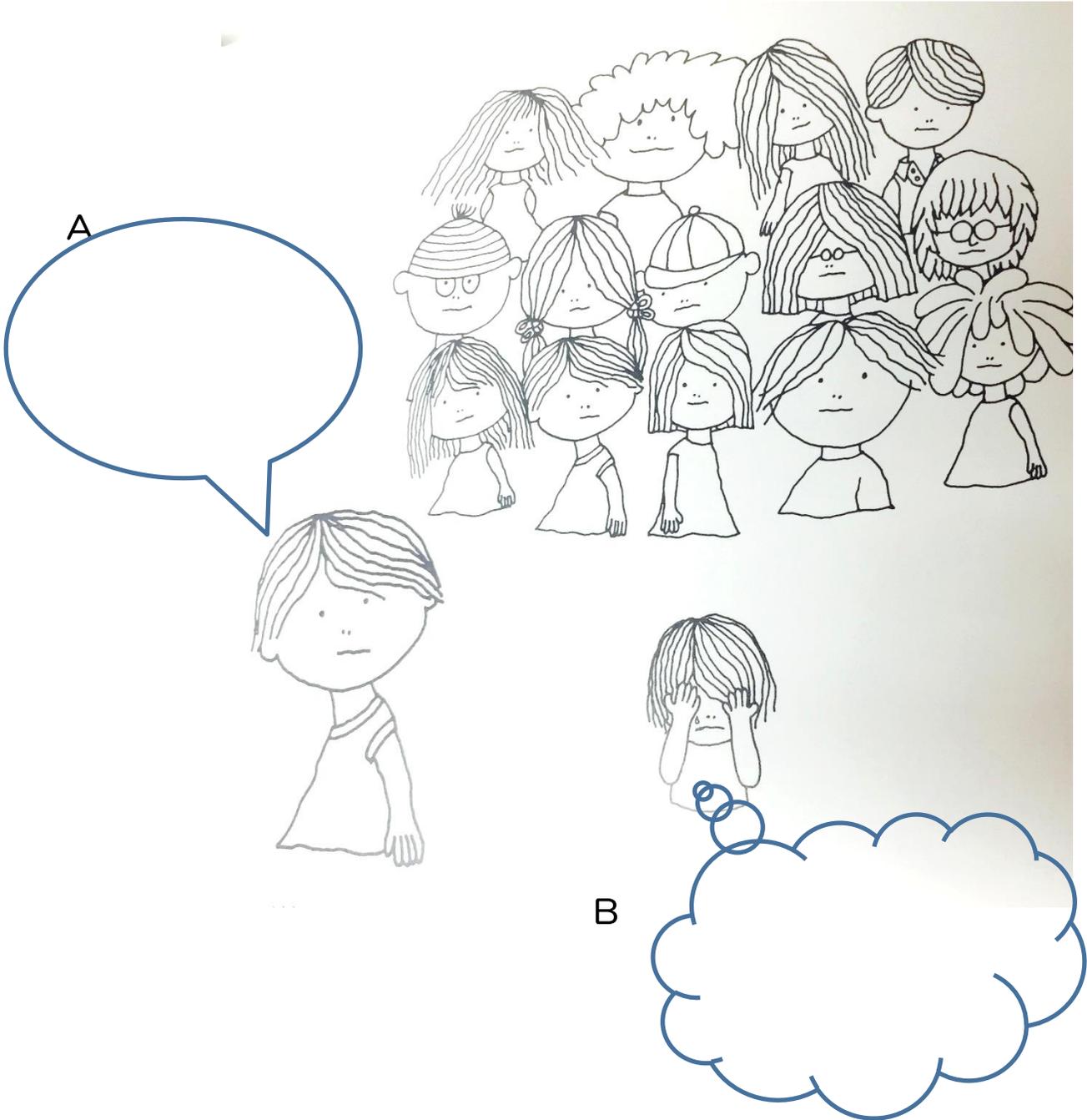




きず
傷つく「ことば」は いらない！

② こんなとき、A友たちにどんな「ことば」を言ったら、相手は傷つきますか？

Bその「ことば」を言われたら、どう思いますか？



いらない「ことば」 みんなで 出し合って、言われてイヤな気持ちになる

「ことば」、今まで言われてイヤだった「ことば」をあげてみましょう！

いらない「ことば」 ワースト3







「なまえ」について

二人一組になって、「なまえ」について、インタビューしよう！

- ①わたしの「なまえ」は（ ）です。
あなたの「なまえ」(フルネーム)を教えてください。漢字の場合、どんな字？

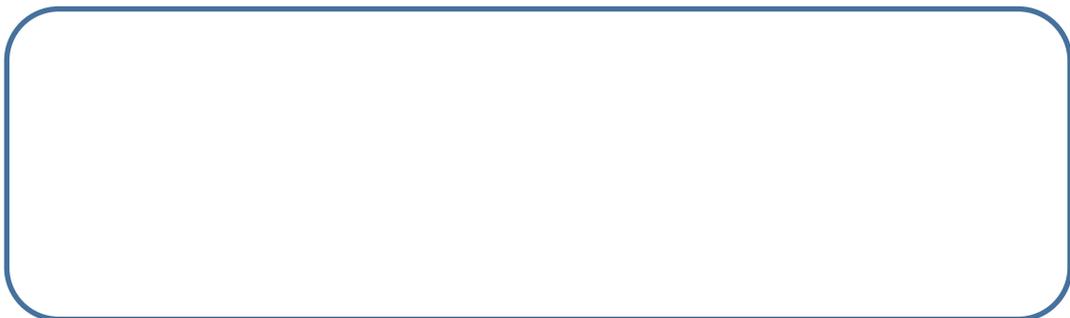
- ②じぶんの「なまえ」は すき ですか？ きらい ですか？

- ③「なまえ」についての思い出やエピソードはありますか？

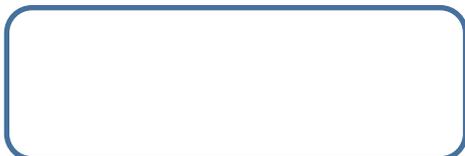
④「なまえ」のどんなところが すき ですか？または、きらい ですか？



⑤「なまえ」のどの部分が すき ですか？ きらい ですか？



⑥「なまえ」の一文字だけ選ぶ^{えら}とすれば、どれにしますか？



⑦なぜ、その文字を^{えら}選びましたか？



1 年 () 組 () 番 な ま え

()

産業社会と人間

インタビュー してみよう！

NO2

「なまえ」について

⑧あたらしく「なまえ」をつけるとしたら、どうしますか？

⑨「なまえ」がなかったら、どうしますか？

⑩「なまえ」をなくしたら、どうしますか？

⑪「なまえ」は たいせつですか？

⑫「なまえ」は いくつあったらいいですか？

⑬「なまえ」がかわったら、あなた自身もかわりますか？

⑭「なまえ」をつけてくれた人は誰ですか？

⑮「なまえ」をつけてくれた人たちがどんな思いで、なまえをつけてくれたか知っていますか？

⑯あなたは生まれ変わっても同じ「なまえ」でいると思いますか？

インタビューをしてみてください

★インタビューはむずかしかったですか？

★インタビューしてみて、どんなことに気づきましたか？

産業社会と人間 「がんばっているね！わたし！」



こうこうせい 高校生になって3ヶ月がすぎました。ちゅうがく 中学とはちがうあたらしいかんきょう 環境で、
みなさん、べんきょう 勉強にぶかつ 部活、いえ おてつだい 家のお手伝い、ある ばいと アルバイトなど、よくがんばってき
たおもいます。この3ヶ月間、がっこういがい 学校以外もふくめて、じぶん 自分でがんばったと思う
ことを3つあげてください。そしてじぶん 自分をほめてあげてください。



自分にあげたい「ごほうび」を書きましょう！



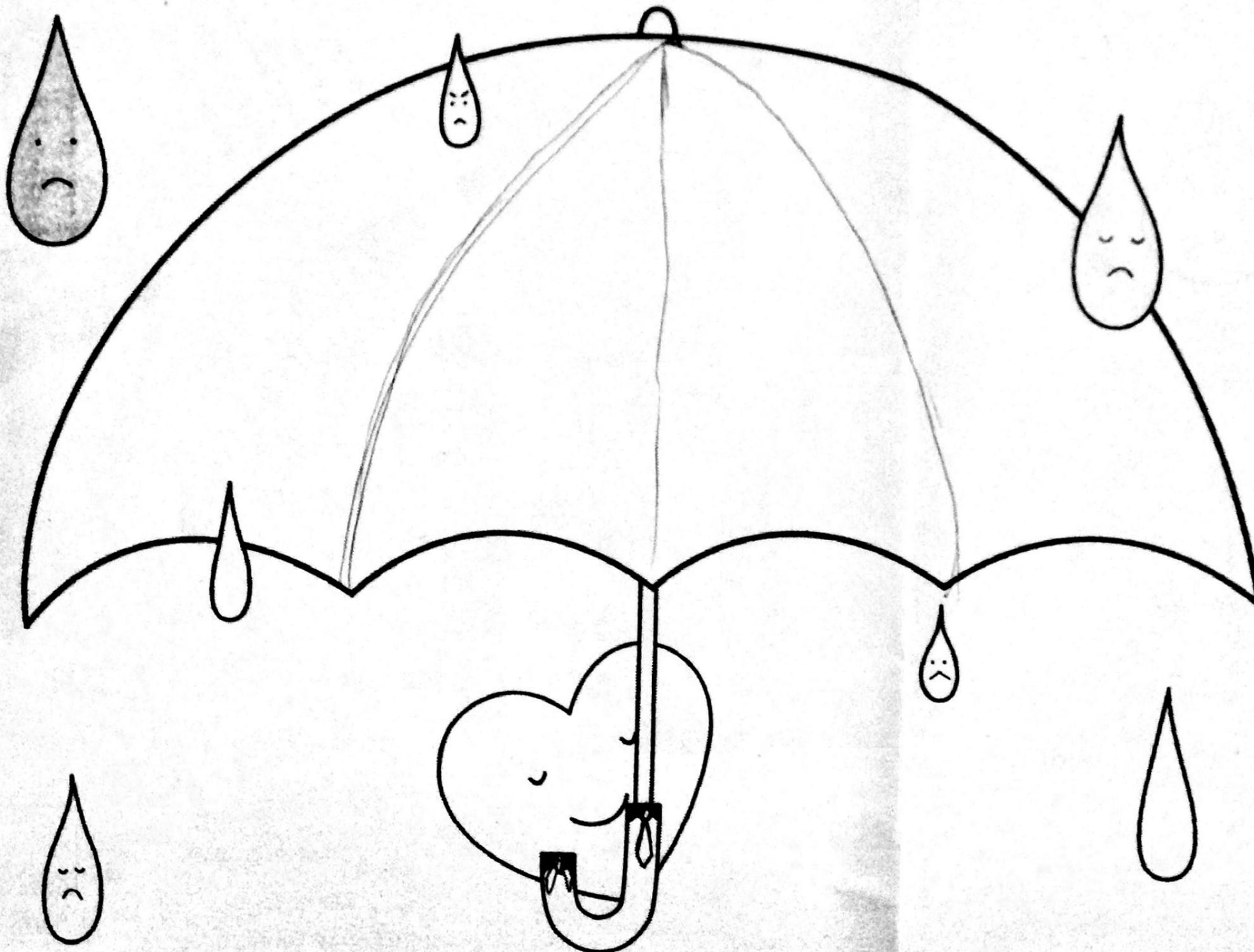
1年 組 番なまえ

こころのかさ

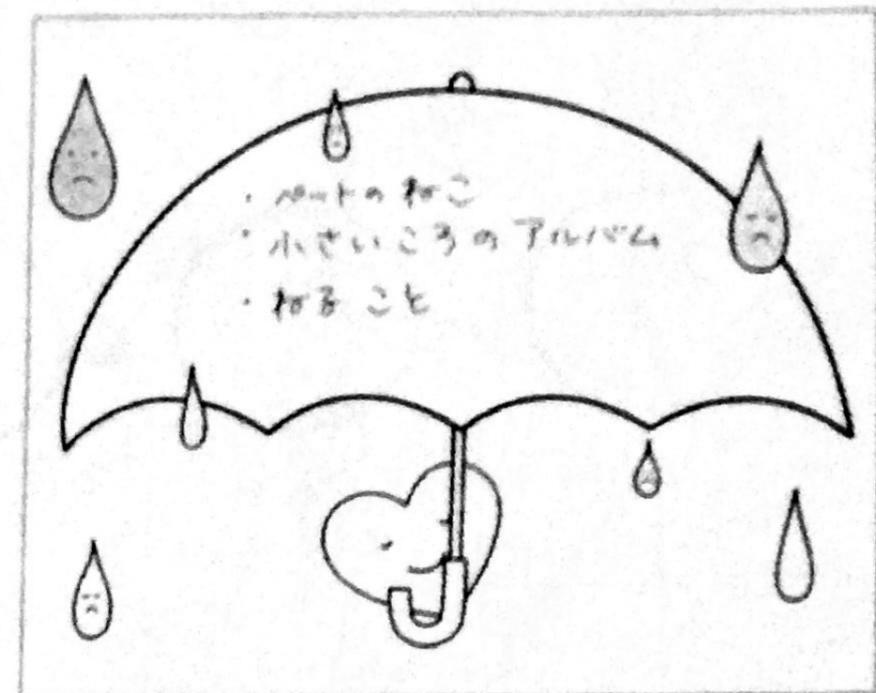
私たちは、雨が降ったらかさをさします。かさは、雨にぬれないように私たちを守ってくれますね。

「こころのかさ」は、つらいことや苦しいことがあったとき、あなたを守ってくれるものです。または、あなたの気持ちが癒れるまで、^{そば}支えになってくれる存在かもしれません。

あなたにとって「こころのかさ」は何ですか？ 思いつくまま書いてみましょう。



例



感じたこと・考えたこと

.....

.....

.....

.....

.....

実施日	年 組 番
/	名前

産業社会と人間 「夏休み」



「授業日」に比べて、「夏休み」中のほうが、
楽しかったこと、充実していたこと、よかったこと、

「授業日」に比べて、「夏休み」中のほうが、
つらかったこと、苦しかったこと、嫌だったこと

「夏休み」と「授業日」(学校がある日)のちがいは、何でしょう。
なぜ、夏休みがあるのでしょうか。



産業社会と人間 「夏休み」



^{じゅぎょうび}「授業日」に比べて、^{なつやすみ}「夏休み」中のほうが、

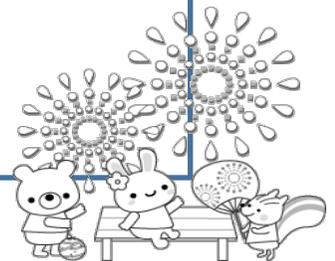
^{たの}楽しかったこと、^{じゅうじつ}充実していたこと、よかったこと、

^{じゅぎょうび}「授業日」に比べて、^{なつやすみ}「夏休み」中のほうが、

^{つら}つらかったこと、^{くる}苦しかったこと、^{いや}嫌だったこと

^{なつやすみ}「夏休み」と^{じゅぎょうび}「授業日」(^{がっこう}学校がある日)の ^なちがいは、何でしょう。

なぜ、夏休みがあるのでしょうか。



産業社会と人間 「夏休み」



「授業日」に比べて、「夏休み」中のほうが、
楽しかったこと、充実していたこと、よかったこと、

「授業日」に比べて、「夏休み」中のほうが、
つらかったこと、苦しかったこと、嫌だったこと

「夏休み」と「授業日」(学校がある日)のちがいは、何でしょう。
なぜ、夏休みがあるのでしょうか。



() さんへ



1年()組()より

() さんへ

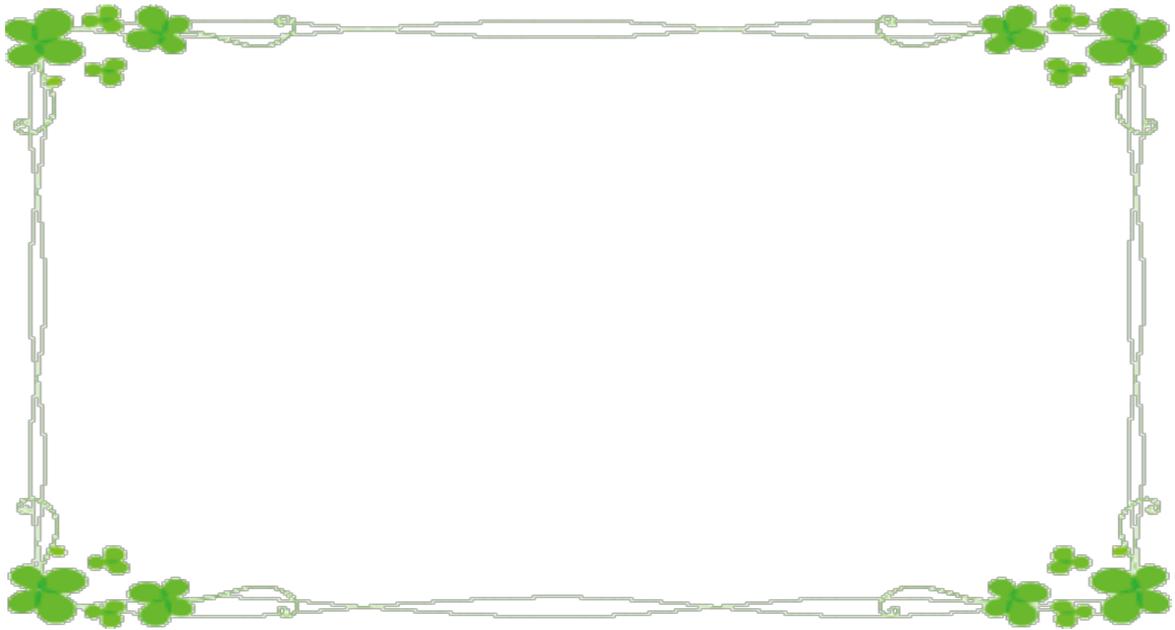


1年()組()より

産業社会と人間

「 ゲストをむかえて 」

() さん へ

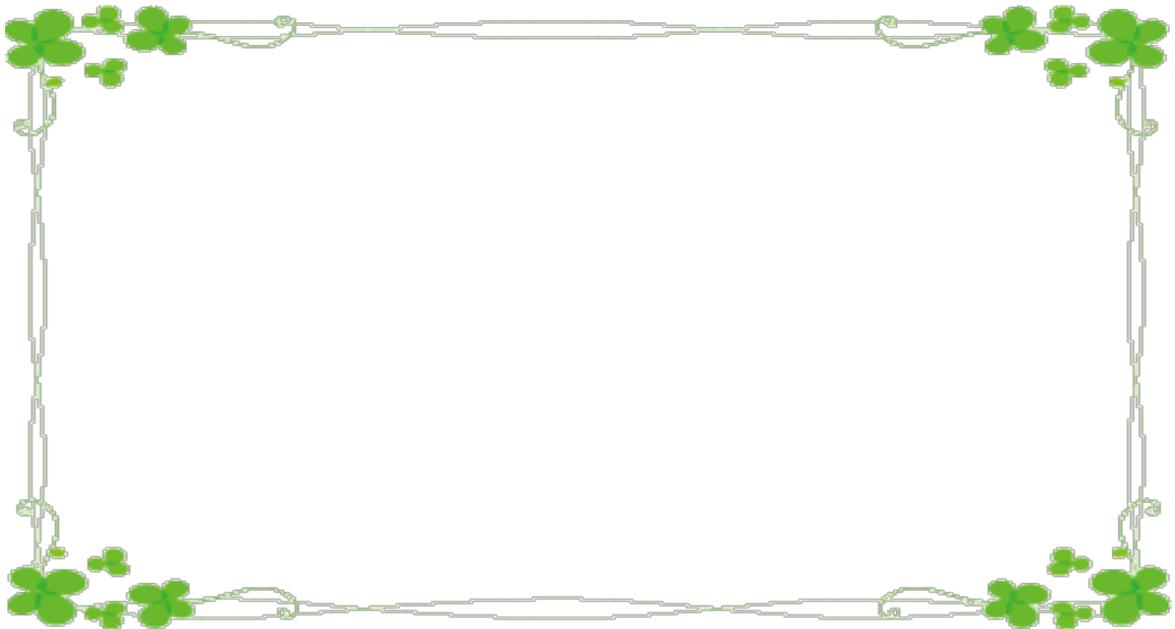


1年 組 番 なまえ

産業社会と人間

「 ゲストをむかえて 」

() さん へ



1年 組 番 なまえ

産業社会と人間

「ストーリーのリレーをしてみよう」

班のなまえ：

メンバー：

A diagram for a story relay activity. It features five vertical rounded rectangular boxes arranged horizontally. Between each pair of adjacent boxes, there is a large orange arrow pointing to the left, indicating the direction of the story relay. The boxes are currently empty, intended for students to write their names and the story they pass on.

テーマ

前期は、「わたし」について考え、ことばや文字で「わたし」を表現してみました。後期は、グループの人と協力し何かを創って、それを他の人に伝えてみましょう。今回は、保育園で子どもたちに紹介するオリジナル絵本を、グループで協力して創りましょう。

【 ルール 】

- ・一人が一場面以上つくります。(リレー詩のように)
- ・みんなでつくる場面を必ず一枚は入れてください。
- ・発表も役割分担して全員で行います。



【 絵本をつくる流れ 】

第1回 (10 / 30)

絵本ってなに？

グループづくり、「テーマ」を考えよう！

ストーリー、場面を考えよう！

第2回 (11 / 6)

表現方法を考えよう！（多様な手法の紹介）

登場人物、キャラクターを考えよう！

第3回 (11 / 13) (短縮)

箱書(下絵)をつくろう！

第4回 (11 / 20)

画用紙に描こう！

脚本も作成！

第5回 (11 / 27)

発表会

※保育園での本番発表は1月の予定です。

「絵本」ってなに



心にのこる「絵本」、好きな「絵本」をあげてみよう

その「絵本」のどこがすき？

「絵本」と「本」のちがいは何？

「絵本」と「マンガ」のちがいは何？

親になったら、自分のこどもにどんな「絵本」をよんであげたい？

どんな「絵本」を創りたい？

1年 組 番 なまえ

飛び出す絵本で水滴が排水管から海へと流れて雨になるまでを表現したアニメーション「**Revolution**」



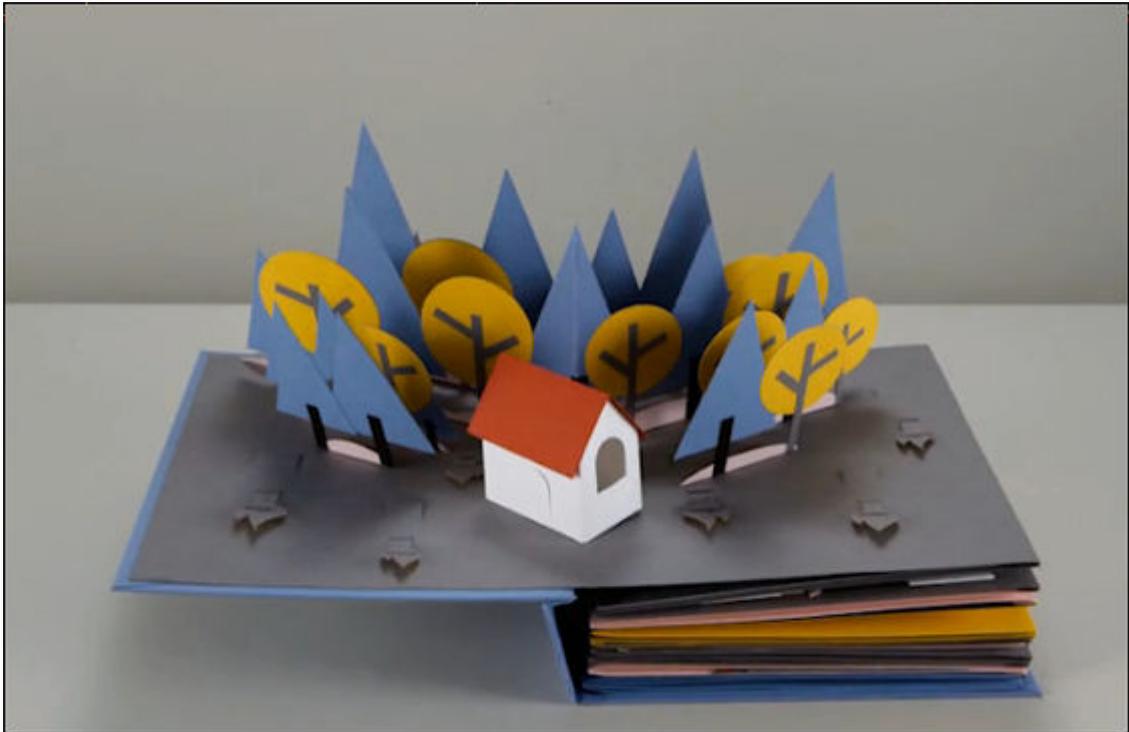
一粒の水滴のライフサイクルを飛び出す絵本で表現し、さらにそれをアニメーションにしたのが「**Revolution (Life Cycle of a Drop of Water)**」です。家の排水口から水道管を通して下水処理場へ、そして海へと流れ出て最後は雨になり再び家へと戻ってくる……という一連の流れが分かりやすく、かつポップに描かれています。

[Revolution \(Life Cycle of a Drop of Water\). on Vimeo](#)

テーブルの上には分厚い絵本。



ページを開くと、森の中に建てられた家が飛び出てきました。



ポッ、ポッ、と家の周囲に火がついていき.....



あっという間に火事になってしまいました。



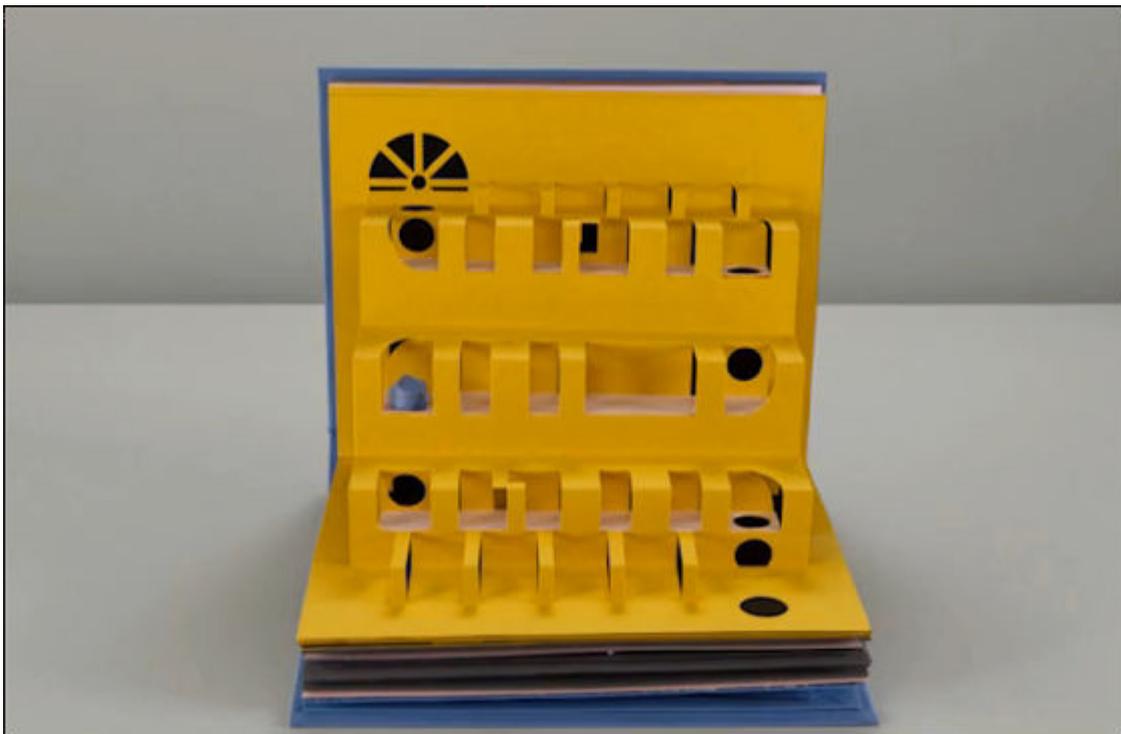
ページをめくると窓から家の中の様子が見えます。



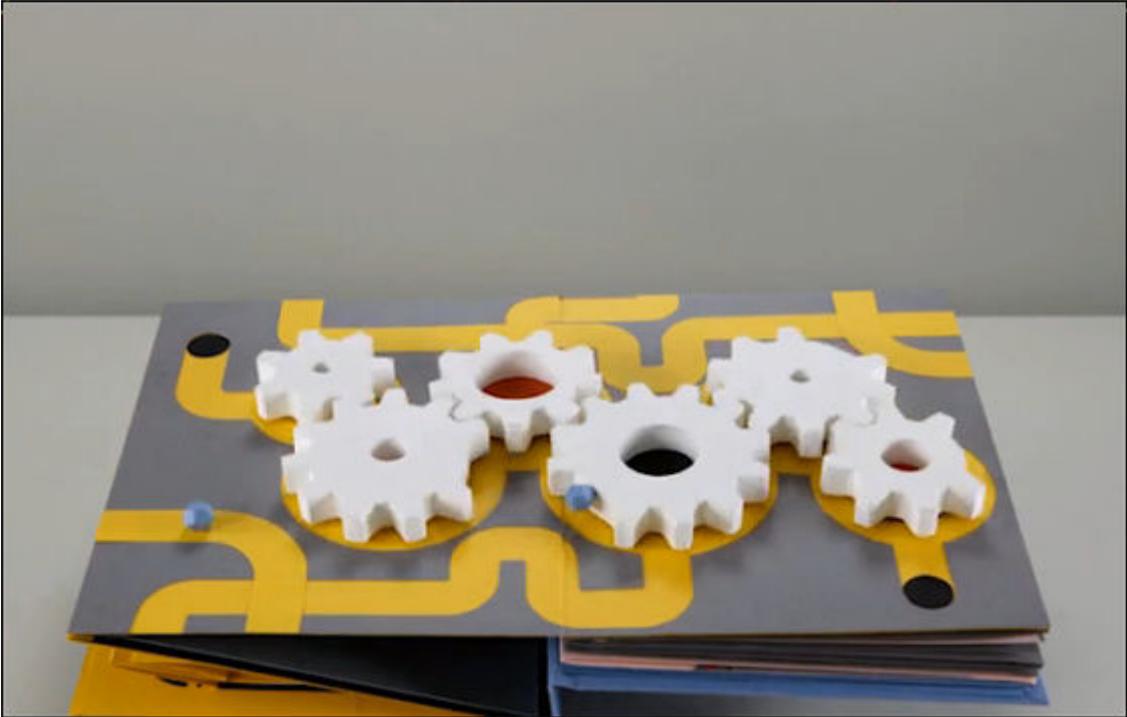
窓辺に設置された水道から落ちた水滴が排水口の中へ。



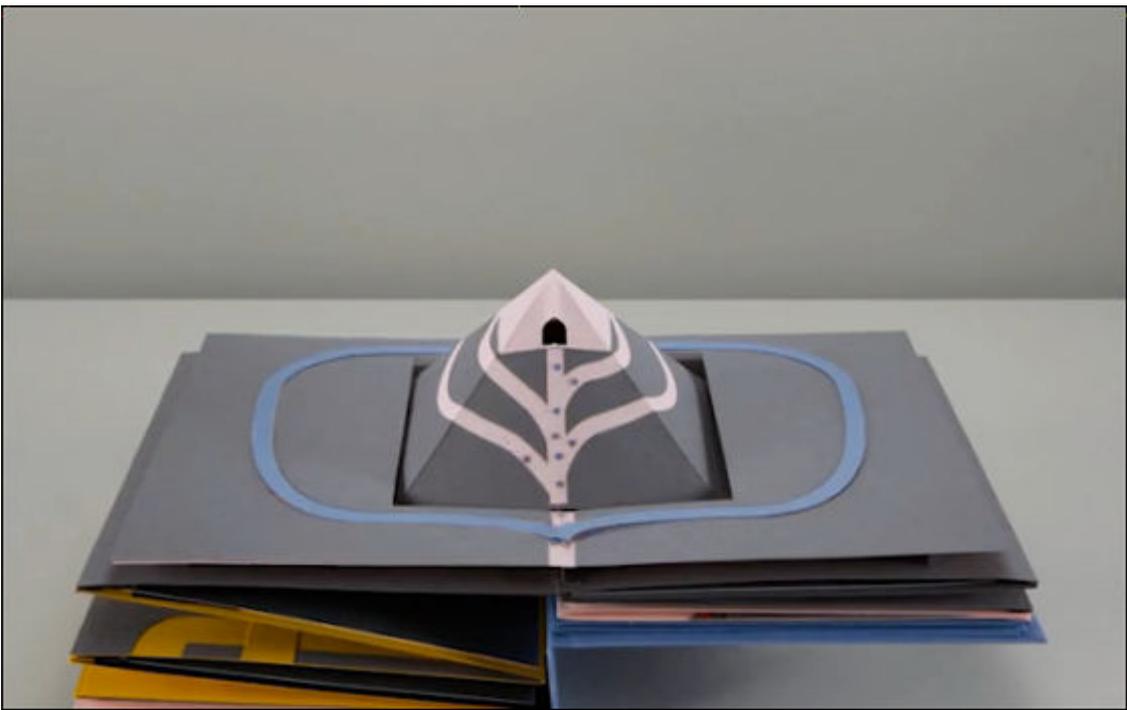
排水口から入ってきた水滴が水道管の中を通っていきます。



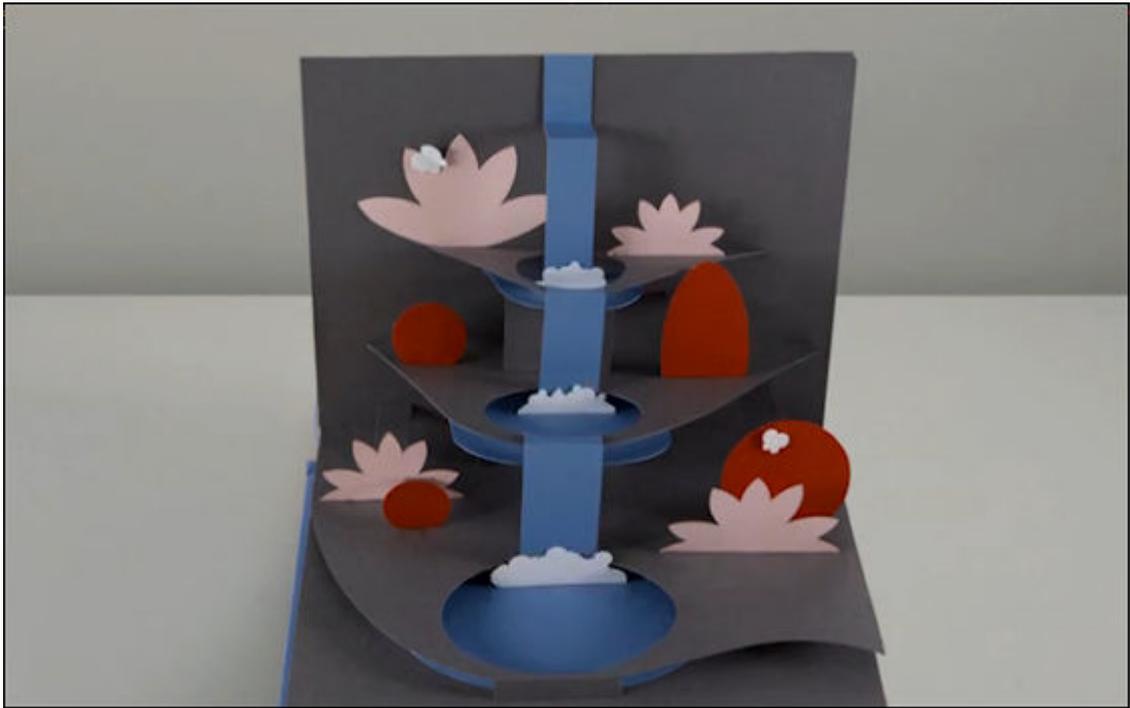
さらに、下水処理場では歯車と一緒に移動。



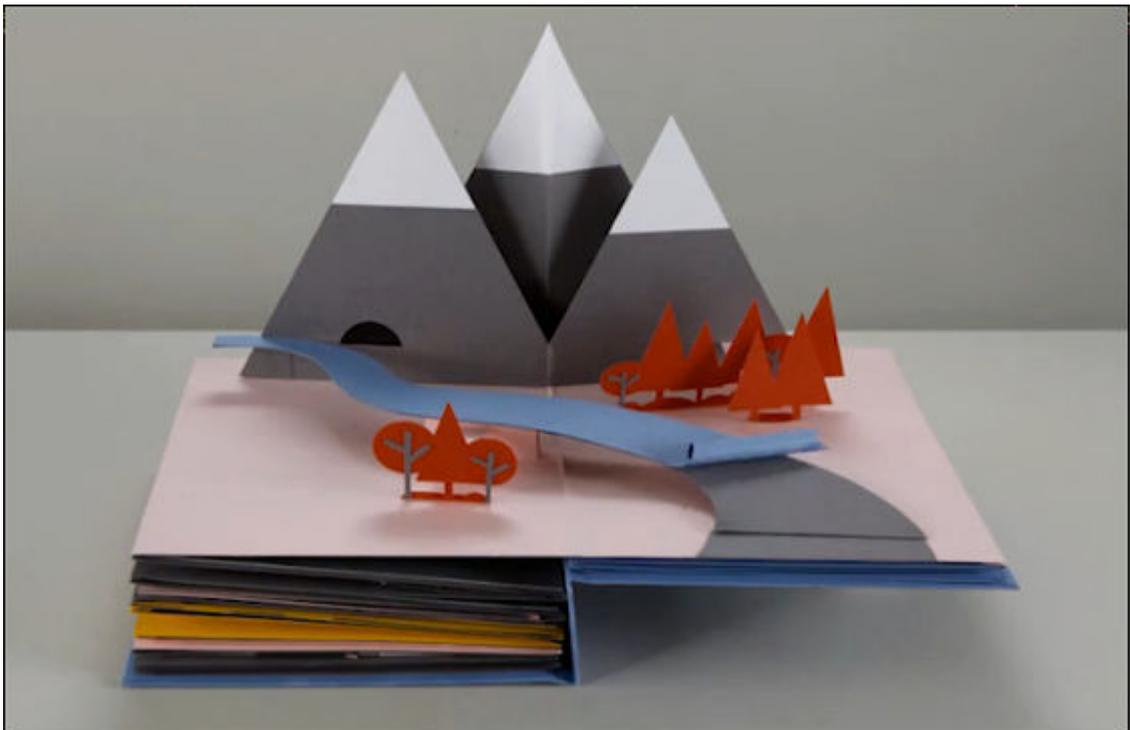
ポロポロと下水処理場からこぼれ落ちた水滴が水の流れを生み出します。



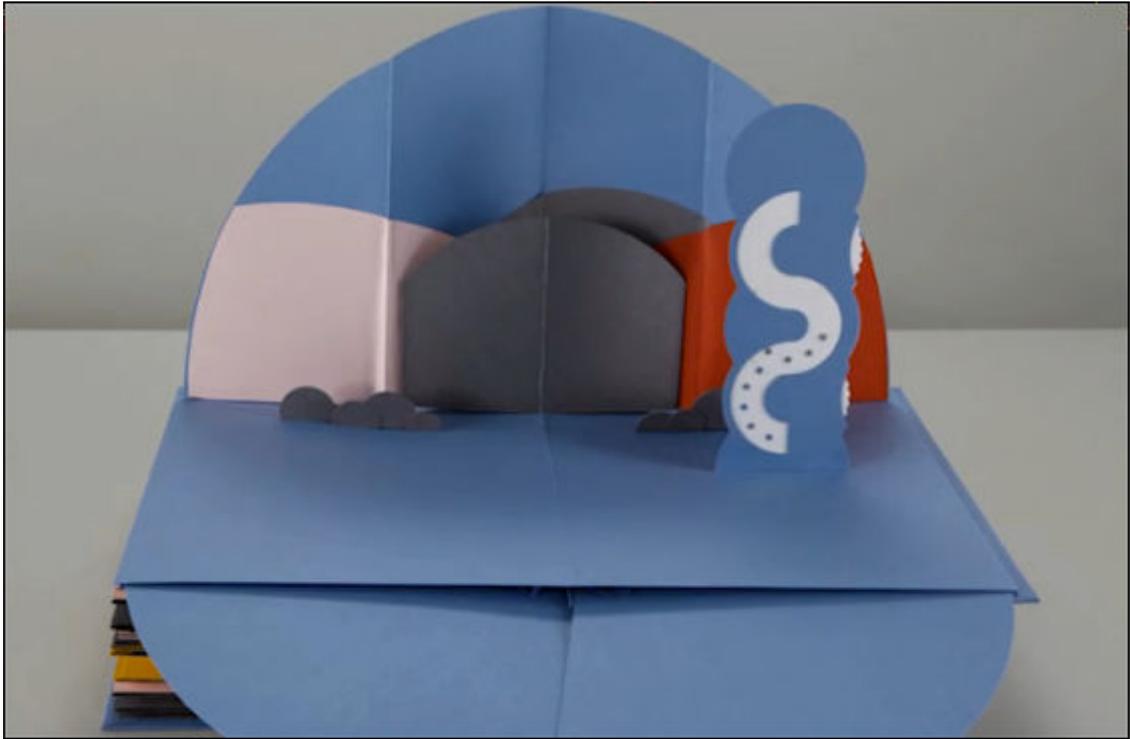
高い場所から低い場所へと落ちていき.....



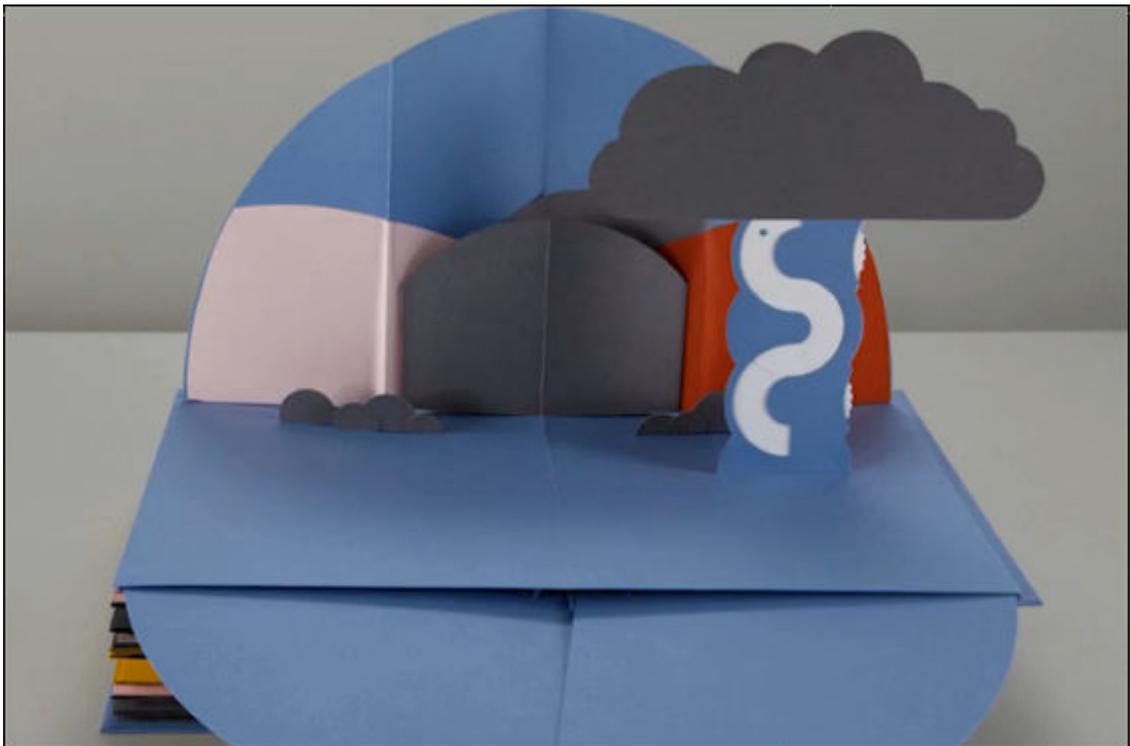
やがて川となりました。



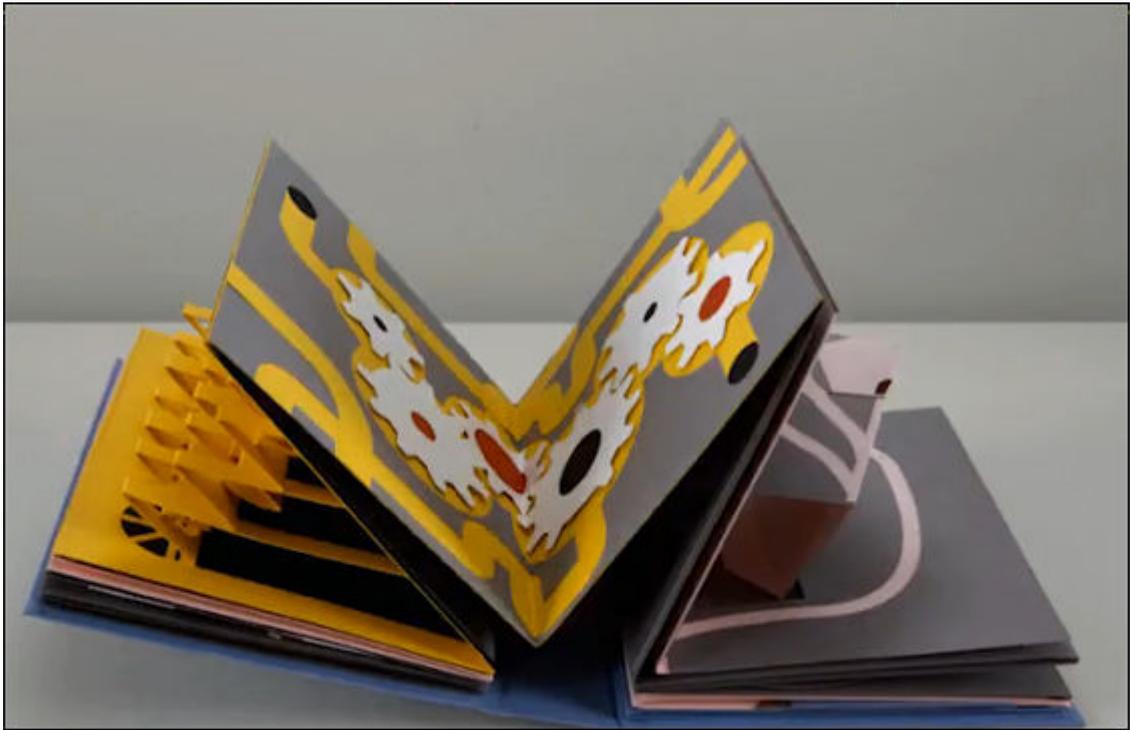
海にたどり着いた元・水滴は徐々に蒸発し、空気中へ。



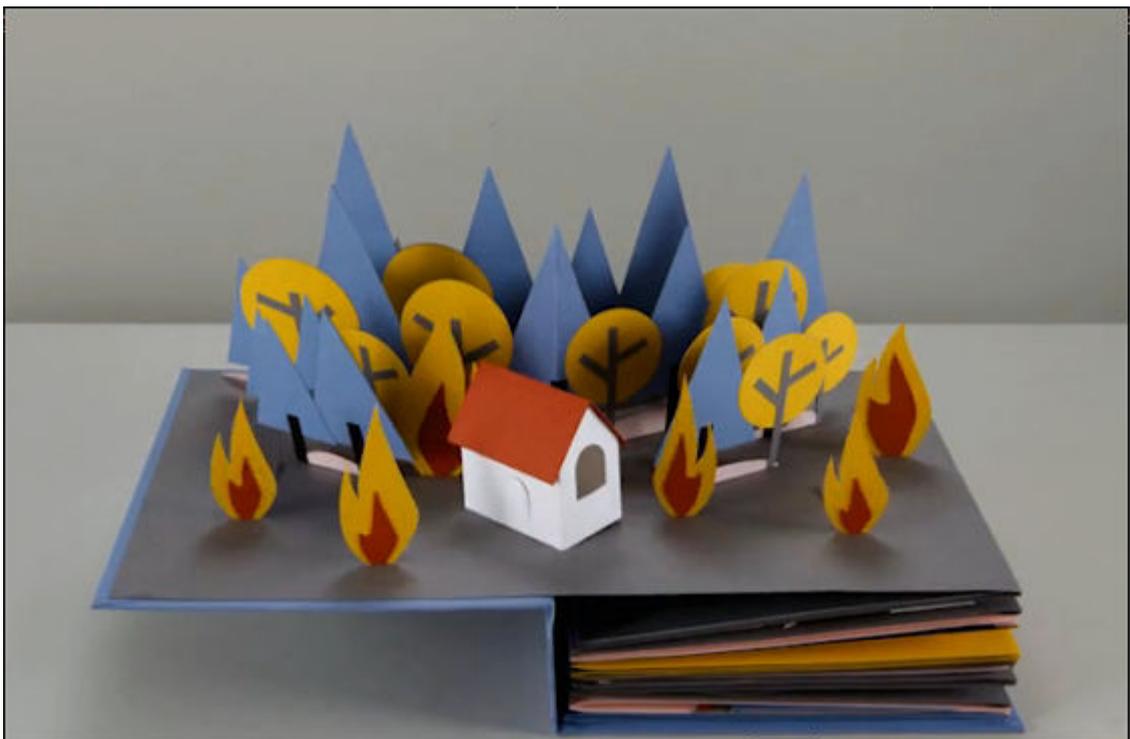
雨雲を形成。



バラバラ.....とページが逆方向にめくられていきます。



火事が起こっていた最初のページに戻ってきました。



雨雲が到着。



ざあざあと雨が降り、やがて火は見事すべて消えたのでした。



おしまい。



まえ ()

項目 メンバー	なまえ	性格		イラスト
1				
2				
3				
4				
5				
6				

--	--	--	--	--

産業社会と人間

キ ャ ラ ク タ ー 相 関 図

班の

なまえ ()

★作った絵本の題名（タイトル）☆

★絵本をつくってみて感じたこと、思ったこと☆

★発表をして感じたこと、思ったこと☆

★他の絵本の発表を見て感じたこと、思ったこと☆

1年 組 番 なまえ

産業社会と人間 「絵本をつくろう！」 保育園を訪問して

1. 保育園に行って気づいたこと



2. 創作絵本をよんで、子どもたちの反応

3. 子どもたちと遊んで、気づいたこと、感じたこと

4. 子どもと遊ぶのは、同年代の子と遊ぶのと、どこがちがう？
子どもと遊ぶと楽しいのは、なんでだろう？



1年 組 番 名前

GS II 　　ふりかえりシート

1 ワークは^{たの}楽しかったですか？

5 | 4 | 3 | 2
| | | |
1

とても 　　少し 　　どちらでも 　　あまり 　　ぜんぜん
楽しかった 　　楽しかった 　　なかった 　　楽しくなかった 　　楽しくなかつ
た

2 ^{あんしん}安心して、その^ば場にいられましたか？

5 | 4 | 3 | 2
| | | |
1

とても 　　少し 　　どちらでも 　　あまり 　　ぜんぜん
安心できた 　　安心できた 　　ない 　　安心できなかった 　　安心できなかった

3 ^き気づいたことがありましたか？

5 | 4 | 3 | 2
| | | |
1

たくさん 　　少し 　　どちらでも 　　あまり 　　ぜんぜ
ん
気づきがあった 　　気づきがあった 　　ない 　　気づきなかった 　　気づきなかった

ひとこと

Empty rounded rectangular box for text entry.

_____ G _____ 番 _____ 名前 _____ _____ 月 _____ 日

産業社会と人間「理想のメニューを考えてみよう！①」

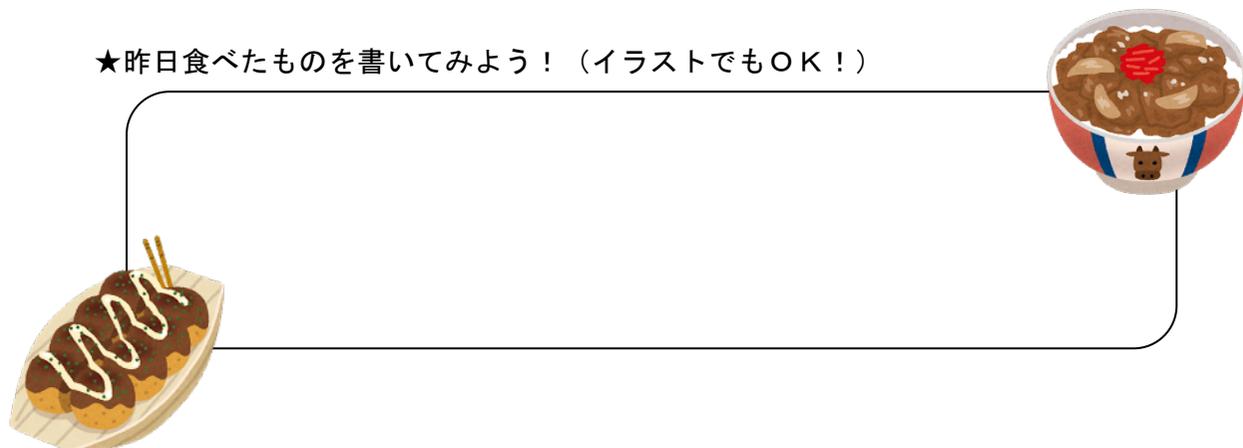
「食べること」は生きることにとても大切なことです。「食べること」について考えよう！

★あなたのいま食べたいものは何ですか？一番食べたいものを書いてみよう！



A large empty rectangular box for writing the current favorite food, connected by lines to the illustrations of ramen, a yogurt parfait, and an ice cream cone.

★昨日食べたものを書いてみよう！（イラストでもOK!）



A large empty rectangular box for writing the food eaten yesterday, connected by lines to the illustrations of a chocolate donut and a beef bowl.

★食べたいものと食べているものはどのような違いがあるのだろうか。考えてみよう！

A large empty rectangular box for comparing favorite and eaten foods.

1年（ ）組（ ）番（ ）

理想の1日の食事を考えてみよう！！



【朝ごはん】

（ ごはん ・ パン ）

飲み物は？

他に食べたいものは？

【昼ごはん】

弁当（絵を描こう）



買うなら？（500円以内で考えよう）



【晚ごはん】

ごはん
（白いごはん ・ 味のついたごはん）

お汁物（どんな具がいいかな？）

おかず（その1）

おかず（その2）



産業社会と人間「理想のメニューを考えてみよう！②」

★あなたが正月に食べたものは何ですか？すべて書いてみよう！



★今日はスーパーコトブキの店長さんを



新しいお弁当を考えよう！！

★まずは自分ひとりで考える。

お昼に食べたいと思う

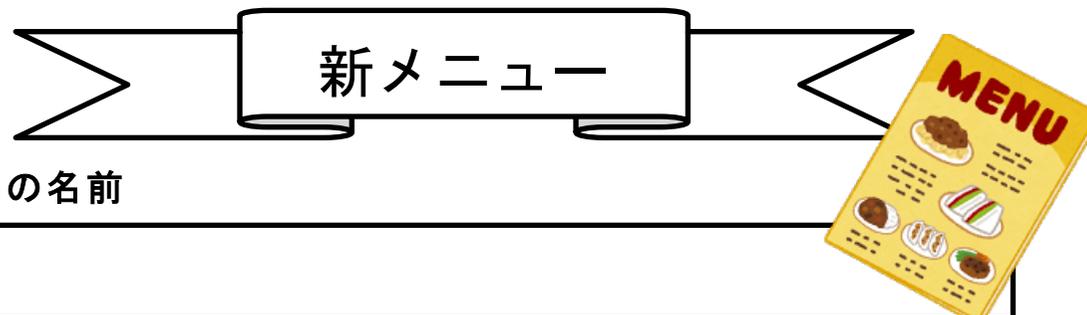
お弁当とはどんなお弁当かな？



★グループで話し合ってみよう。集まったメンバーの名前を書こう！



1年()組()番()



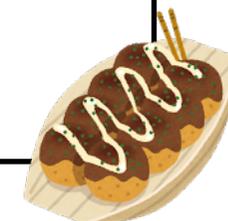
★お弁当の名前

★内容（具材・素材など・・・）

イラストを別の紙に書こう！！

★価格（売れそうな値段を設定！！）

★セールスポイント（どんなにいいかをアピール！！）



★キャッチコピー（短い言葉で宣伝しよう！！）「めっちゃうま！☆」

産業社会と人間「理想のメニューを考えてみよう!」③



グループのみんなのメニューを聞いて、1週間分のメニューを考えてみよう!

	月	火	水	木	金	土	日
あさ							
ひる							
よる							

★大きな字で書こう!!

★イラストをつけてもOK!!

1年()組()番()



土日はグループで分担!!
みんなで考えよう!!

産業社会と人間「理想のメニューを考えてみよう！」

★あなたの考えた「理想の食事」を整理しよう！

【朝ごはん】

【昼ごはん】

【晩ごはん】

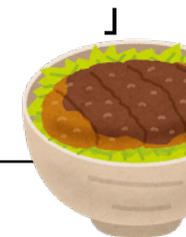
おいしそう！！



1年（ ）組（ ）番（ ）

★あなたの作ったメニューは何からできているか書いてみよう！

例えば・・・カツ丼なら、「



【朝ごはん】

【昼ごはん】

【晩ごはん】

たくさんの食材が使われていることが確認できたかな??

ごはんを作るのって、本当にたくさんの食べ物が必要ですね



☆実際、みんなはどのようなものを食べているのかな？

みんなの「昼ごはん」を教えてください！！

【課題】

「昼ごはん」の写真を送ろう！

【期限】

11月4日（水）16：00まで

【送付場所】

sansha6@nagayoshi.osaka-c.ed.jp

これは6組だけのアドレスです！！他のクラスの人には使えません。

【ルール】

- 1 ある日の「昼ごはん」を写真に撮り、上のメールアドレスまで送ってください。1人1枚だけ送ること。必要のない写真などは絶対に送らない。
- 2 件名に「1年〇組〇〇番 名前」を必ず入れ、本文には何も書かないこと。
- 3 この課題は「産業社会と人間」の成績に入るものです。まじめに取り組むこと。
- 4 事情があって、送ることが難しい場合は、産業社会と人間の担当者に相談しなさい。
- 5 来週の授業で送ってもらった写真を紹介しますが、名前は公開しません。
- 6 お店で撮影する場合は、お店の人に許可をもらうこと。勝手に撮ってはいけません。

例

差出人： ○○○○@ezweb.ne.jp

宛 先 :

sansha6@nagayoshi.osaka-c.ed.jp

件名： 1年〇組33番 長吉 花子



産業社会と人間「理想のメニューを考えてみよう！⑤」

〇〇さんに、お弁当をつくろう！！これがプレゼンテーション本

番

今日はスーパーコトブキの店長さんを
新しいお弁当を考えよう！！



☆まずは、〇〇さんを選ぼう！！〇〇さんの為のお弁当！！

あなたの選んだ人は・・・

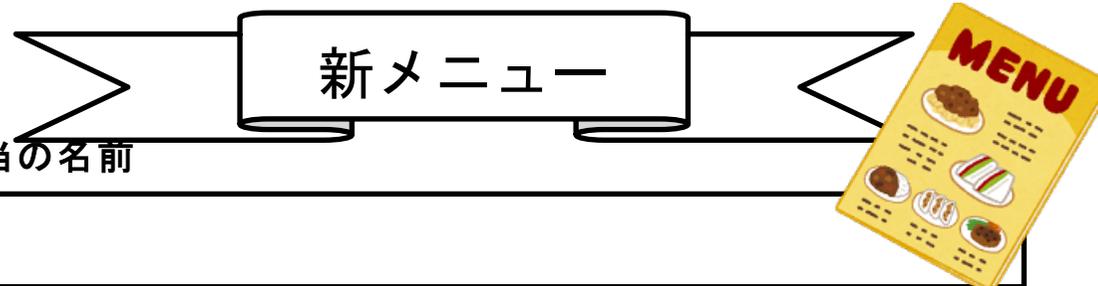


のりづけしよう！！

☆集まったメンバーの名前を書こう！

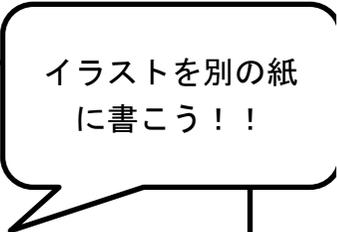
まずは自分ひとりで考える。この人がお昼に食べたいと思う
お弁当とはどんなお弁当かな？

1年()組()番()



☆お弁当の名前

☆内容（具材・素材など・・・）



☆価格（売れそうな値段を設定！！）

☆セールスポイント（どんなに美味しいかをアピール！！）

☆キャッチコピー（短い言葉で宣伝しよう！！）「めっちゃうま！☆」

産業社会と人間「理想のメニューを考えてみよう！（お店編）」



店長（ ） 店員（ ）（ ）（ ）（ ）（ ）

	メニュー1 ()	メニュー2 ()	メニュー3 ()	メニュー4 ()	メニュー5 ()	メニュー6 ()	メニュー7 ()
名前							
内容							
価格							
セール ポイント							

★大きな字で書こう！！

★イラストをつけてもOK！！



6・7はグループで相談！！
みんなで考えよう！！

産業社会と人間 「私の好きなうた・テーマ曲」

☆うたの題名・タイトル

()

☆アーティスト

()

☆作詞家 ()

☆作曲家

()

☆リリース年 ()

年)

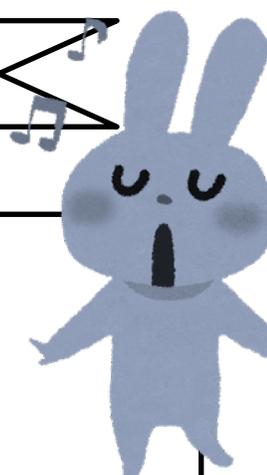
☆歌詞

☆下に全部書こう☆

私の好きなうた

☆この曲をえらんだ理由

Blank box for writing the reason for choosing the song.



☆この曲で好きなところ・歌詞

Blank box for writing favorite parts or lyrics of the song.

☆みんなへのアピールポイント (どんなところがいいのか)

Blank box for writing appeal points.

1年 () 組 () 番 ()



2. 実施前に作成していた授業展開案（一部）

- ・ わたし発見2.
- ・ ころのかさ.
- ・ うそつき自己紹介.
- ・ パワーグラフ.
- ・ わたしをあらわす文字？（その1）.
- ・ わたしをあらわす文字？（その2）.

校内
1時間

項目

わたし発見

育みたい力

- 自分自身を見つめる力を身につける。
- 自分のいいところを発見して、人に発表できるプレゼンテーション力を高める。

本項目の概要

様々な特性について、自分があてはまるものをチェックし、自分の長所を認識した上で自己紹介文を作成する。自分の人生を振り返り、自己理解を深め、小グループ内でのプレゼンテーションをする。

5分

35分

10分

導入

展開

まとめ

本時の説明

(5分)

- ・ころシート記入
- ・過去の自分を振り返って、自分のいいところはどんな所だろうかと考える。

ブレイン
ストーミング
(10分)

- ・自分にあてはまる項目を選び、特に強く思う3項目について考える。
- ・どんなときにそう思うか詳しく記述する。

グループ内発表
(15分)

- ・相手を見て当てはまる項目をチェックし、その人の名前が書かれた封筒へ入れる。
- ・4人グループで、一人ずつ時間を確保し、本人には見せずに、封筒へ入れる。その後、封筒を本人へ渡す。

全体発表&プリン
ト学習
(10分)

- ・自分のいいところをうまく言えたか。他者のいいところ、そのエピソードを聞いて、どう思ったか。その後のグループ発表を聞いてどう感じたかを文章にしてまとめる。

ふり返しシート
の記入
(10分)

- ・この授業で自分自身を振り返って考えてみるということについて、どう感じたか文章にしてまとめる。

- ・様子を観察し、不調な生徒や人間関係をとらえる。自己紹介が苦手な生徒もいるので配慮する。

- ◆机間巡視し、生徒にアドバイス
選択項目はどれも短所と呼ばれる項目であるが、そのことを伏せる。否定的にならないように、アドバイスする。

- ◆グループワークのルールを確認
・メンバーは4人。
・ゆっくりと大きな声で話す。
・笑顔で全員に向かって話す。
・発言者の話をしっかり聞く。
・「長所」と呼ばれる項目ばかりであることは伏せる。
・「プレゼント」感を演出。

- ◆助言
自分のいいところを知り、その部分を活かし伸ばせるようにするにはどうしていったらいいのかを考えさせる。また将来へつなげていけるようにしようと促す。

- ◆ふり返しシートの回収
・生徒一人ひとりの様子を観察する。
・次回の教材についての説明。

校内
45分

項目

こころのかさ

育みたい力

自己開示する力。
自分ひとりでは解決できないことも他人のアイデアを知ることで考えの幅をひろげさせ、ストレスを乗り越えてひとは成長していくことに気づかせる。

本項目の概要

現在自分がストレスに感じていることはどんなことなのかを考えさせる。他人に知らせることを前提に兩のしずくに書き込ませる。それを見て友達がどんな事に悩んでいるのかを理解する。そして、友達のストレスに対して「自分ならどのように対処するか？」を考えさせてグループ毎に考えをまとめさせる。最終的にグループで出てきた意見をコミュニティボールを使いながら発表する。

5分

30分

10分

導入

展開1

展開2

**本時の説明
(5分)**

今日は研究授業であるが、いつも通りの取り組みをしてください。今日のテーマは「ストレスを外にだしてみよう。」そしてそれをどのようにすれば解決できるのか皆でかんがえよう。

**アイス
ブレーキング
(5分)**

・こころスケールを使って今日の心の状態をチェックする。そこにあらわれるこころの混乱・イライラ・不安の理由を考えさせる。その中で他人に見せることができるものを一つあげさせる。

**グループ内発表
(15分)**

・しずくの形をした色画用紙に自分のこころの混乱、イライラ、不安の材料を書き出してみる。
・もし自分が、おだやか・ニコニコであれば友達の抱えている悩みをだしてもよい。自分のことでなくてもよい。
一人一枚は書かせる。

**しずくについて
(10分)**

・はられたしずくを見て重なるところは一つにまとめてグループ化する。

**かさをつくろう
(10分)**

・私ならこうするというアイデアをできるだけたくさん考えてビニール傘にポストイットをはりつけていく。

◆ストレスは善か悪か？

・自分も日々ストレスを感じている点、それをどのように解決できるのか一緒に考えてみたいということを伝える。

◆机間巡視、生徒にアドバイス

毎回書いているものではあるが今日はその中の「こころ」に注目して、その原因となるものを外に出してみよう。と伝える。

◆ここで4、5人のグループを作る。

・一人一人が書いたしずくを班の中でもう少し具体的に説明してみる。話し合いが終わったかどうか確認できたら班長がまとめて黒板に、はりに行くので、誰がどれを書いたのかわからなくする。

◆班の役割分担

各班にどのしずくのかさを考えてもらうのをわりあてる。時間があまりそうなら選ぶしずくを増やす。参加している教員のストレスをきいてみてよい。それについて生徒が考えるのもおもしろいかもしれない。

◆一人一枚以上書いてみる。

校内
1時間

項目

ウソつき自己紹介

育みたい力

- 自分自身を見つめる力を身につける。
- 自分のいいところを発見して、人に発表できるプレゼンテーション力を高める。

本項目の概要

自身の特性に気づかせる。同時に他者の特性についても考える視点を持たせる。クイズ形式の「ほんとうそ？」という形で小グループ内での自己プレゼンテーションを行い、周囲にも理解してもらえきっかけ作りを行う。

5分

35分

10分

導入

展開

まとめ

本時の説明

(5分)

- ・自分の持つ特性について、真実を3つまったく持っていない特性を1つ考えさせる。

ブレインストーミング
(10分)

- ・教員が例示し、具体的なイメージをもたせる。
- ・司会、発表者を決める。
- ・自身の持つ特性3つと本当は持っていない特性を1つランダムに書きださせる。それについて、クイズ形式で順番に披露する。

グループ内発表

(15分)

- ・それぞれから出されたクイズ形式の問題を、メンバーの他のものが相談して、正解を答える。それを順次行っていく。

全体発表&プリント学習

(10分)

- 自身のことを披露してどう思ったか、正解を当てられてどう感じたか、当てられなくてどう感じたか。また人の話をきいてどう感じたかを書かせる。

ふり返しシートの記入

(10分)

- ・この授業の内容が今後どういうところで活かされるかと思われるかをまとめる。

- ◆自分の得意なこと、苦手なこと、趣味など皆が知っていること、知られていないことを見つめ直すように、また、話しやすいような雰囲気をつくりあげる。

◆机間巡視し、生徒にアドバイス

- なかなか自発的に答えが書けない生徒にアドバイスを与える。発表する時はクイズの出題者としてはなせるように工夫しようと伝える。

◆グループワークのルールを確認

- ・メンバーは4人。
- ・笑顔で全員に向かって話す。
- ・発言者の話をしっかり聞く。
- ・聞くだけでなく誰もが自分の意見を言うようにする。

◆助言

- 自分について、考えると同時に、他者についても理解するようにしよう。誰もが、いろんな特性を秘めていることに気づかせる。

◆ふり返しシートの回収

- ・生徒一人ひとりの様子を観察する。
- ・次回の教材についての説明。

校内
1時間

項目

わたしのパワーグラフ①

育みたい力

- 印象的な自己紹介を考える中で自分を理解し、自尊感情を高める。
- 自分を表現する楽しさを体感し、自己アピール力を高める。

本項目の概要

これまでの自分の人生におこった出来事を振り返り、それを短文でまとめた上で、パワー(数字)で評価する。それをういてグループ内で自己紹介を行う。文字を通じて自己アピールする方法を学ぶ。

10分

25分

10分

導入

展開

まとめ

本時の説明・
例示
(10分)

- ・こころシート記入
- ・人と出会う機会に必ず行われる自己紹介を通じ、自己理解、他者理解を進めることの大切さを伝える。
- ・今回は文字を小道具に用いて自己紹介することを伝える。

「トイレの神様」視聴&
花菜ちゃんのパワーグラフ作成(15分)

- ・「パワーグラフ」を通して教員自身が振り返り、エピソードやその時点のパワーで表現する。
- ・プリントで歌詞を見ながら、登場人物の状況を理解する。
- ・例で作成されたプリントをみて、状況とパワーグラフの関係性を理解する。
- ・「たのしいこと」「しんどいこと」「つらいこと」「みんなに紹介したいこと」について、花菜ちゃんのパワーグラフを完成させる。

グループ内発表
(10分)

- ・グループ内で、プリントをもとに自己紹介を行う。

全体での発表
(10分)

- ・全体の前で発表する。(発表してみたい生徒や事前に把握した発表できそうな生徒)

- ・様子を観察し、不調な生徒や人間関係をとらえる。自己紹介が苦手な生徒もいるので配慮する。

◆机間巡視し、生徒にアドバイスを

- ・教員が自分の自己紹介を行い、具体的な例を示す。(生徒が考えやすいよう、複数の例があると良い)
- ・誰にでも楽しいことやつらいことなどあるという事を示す。
- ・巡視し、書ける内容だけ書き、無理に全部書かなくてもよいと伝える。発表する生徒・その内容も把握する。

◆グループワークの
ルールを確認

- ・メンバーは4~5人程度。
- ・ゆっくりと大きな声で話す。
- ・笑顔でメンバー全員を見回しながら話す。
- ・発言者の話をしっかり聞く。

- ・生徒一人ひとりの様子を観察する。
- ・次回の内容について予告する

項目

わたしのパワーグラフ①

育みたい力

- 印象的な自己紹介を考える中で自分を理解し、自尊感情を高める。
- 自分を表現する楽しさを体感し、自己アピール力を高める。

校内
1時間

本項目の概要

これまでの自分の人生におこった出来事を振り返り、それを短文でまとめた上で、パワー(数字)で評価する。それをういてグループ内で自己紹介を行う。文字を通じて自己アピールする方法を学ぶ。

10分

25分

10分

導入

展開

まとめ

本時の説明・例示 (10分)

- ・こころシート記入
- ・人と出会う機会に必ず行われる自己紹介を通じ、自己理解、他者理解を進めることの大切さを伝える。
- ・今回は文字を小道具に用いて自己紹介することを伝える。

わたしのパワーグラフ作成(15分)

- ・「パワーグラフ」を通して教員自身が振り返り、エピソードやその時点のパワーで表現する。
- ・プリントで歌詞を見ながら、登場人物の状況を理解する。
- ・例で作成されたプリントをみて、状況とパワーグラフの関係を理解する。
- ・「たのしいこと」「しんどいこと」「つらいこと」「みんなに紹介したいこと」について、自分のパワーグラフを完成させる。
- ・人に見せることを意識し、デコレーションなどをしながら、カラーマジックで清書をする。

グループ内発表 (10分)

- ・グループ内で、プリントをもとに自己紹介を行う。
- ・発表できる生徒のみ発表する。

全体での発表 (10分)

- ・全体の前で発表する。(発表してみたい生徒や事前に把握した発表できそうな生徒)

- ・様子を観察し、不調な生徒や人間関係をとらえる。自己紹介が苦手な生徒もいるので配慮する。

◆机間巡視し、生徒にアドバイスをする

- ・教員が自分の自己紹介を行い、具体的な例を示す。(生徒が考えやすいよう、複数の例があると良い)
- ・誰にでも楽しいことやつらいことなどあるという事を示す。
- ・悩んでいる生徒には、まずどの出来ごとを選ぶか考えさせる。
- ・思い出せないで悩む生徒には、最近あった出来事から書いていくように指示する。(例)高校入学⇒高校受験⇒中学校卒業式⇒・・・
- ・巡視し、書ける内容だけ書き、無理に全部書かなくてもよいと伝える。発表する生徒・その内容も把握する。

◆グループワークのルールを確認

- ・メンバーは4～5人程度。
- ・ゆっくりと大きな声で話す。
- ・笑顔でメンバー全員を見回しながら話す。
- ・発言者の話をしっかり聞く。

- ・生徒一人ひとりの様子を観察する。
- ・次回の内容について予告する

校内
1時間

項目

わたしをあらわす文字？①

育みたい力

- 印象的な自己紹介を考える中で自分を理解し、自尊感情を高める。
- 自分を表現する楽しさを体感し、自己アピール力を高める。

本項目の概要

自分のモットーや趣味等を振り返り、それを短文でまとめた上で文字(なるべく1, 2文字)で表現する。それを用いてグループ内で自己紹介を行う。最後には自分の夢や未来を一文字で表現し、用紙に大書する。文字を通じて自己アピールする方法を学ぶ。

10分

25分

10分

導入

展開

まとめ

本時の説明・例示 (10分)

- ・こころシート記入
- ・人と出会う機会に必ず行われる自己紹介を通じ、自己理解、他者理解を進めることの大切さを伝える。
- ・今回は文字を小道具に用いて自己紹介することを伝える。

これまでのわたしをあらわす文字&自己紹介文作成(15分)

- ・「パワーグラフ」や「わたし辞典」「わたし発見」のプリントを振り返る。
- ・教員自身が振り返り、わたしをあらわす文字の例を示す
- ・「私は…」で始まる自己紹介文を書くことで、大切にしていること、性格、好きなこと、趣味特技等からどう自分を紹介するか考えさせる。辞書も活用する。
- ・「なぜこの文字を選んだか」「この文字がイメージすること&みんなに紹介したいこと」について、自己紹介文を完成させる。

グループ内発表 (10分)

- ・グループ内で、プリントをもとに自己紹介を行う。

全体での発表 (10分)

- ・全体の前で発表する。(発表してみたい生徒や事前に把握した発表できそうな生徒)

- ・様子を観察し、不調な生徒や人間関係をとらえる。自己紹介が苦手な生徒もいるので配慮する。

◆机間巡視し、生徒にアドバイスをする

- ・教員が自分の自己紹介を行い、具体的な例を示す。(生徒が考えやすいよう、複数の例があると良い)
- ・自分を分かってもらい、好印象を与える言葉・文字を考えさせる。
- ・悩んでいる生徒には、まずどの項目を選ぶか考えさせる。
- ・自己紹介文で悩む生徒には、教員がまずは文章ではなく言葉で引き出す等の工夫をする。
- ・巡視し、できるだけ、ほめることでやる気を引き出す。発表する生徒を把握する。

◆グループワークのルールを確認

- ・メンバーは4~5人程度。
- ・ゆっくりと大きな声で話す。
- ・笑顔でメンバー全員を見回しながら話す。
- ・発言者の話をしっかり聞く。

- ・生徒一人ひとりの様子を観察する。
- ・次回の内容について予告する

校内
1時間

項目

わたしをあらわす文字？②

育みたい力

- 印象的な自己紹介を考える中で自分を理解し、自尊感情を高める。
- 自分を表現する楽しさを体感し、自己アピール力を高める。

本項目の概要

前時は自分のモットーや趣味等を短文でまとめた上、一文字で表現した。
本時はその経験を元に自分の夢や未来を一文字で表現し、A3用紙に大書する。文字を通じて自己アピールする方法を学ぶ。

15分

20分

10分

導入

展開

まとめ

**本時の説明・映像教材の視聴
(15分)**

- ・前時の振り返り。
- ・今回は同じ方法を用い、夢や決意、未来を一文字で表現して伝える。
- ・漢字を使った授業（ゴルゴ松本）を視聴しながら、出てくる漢字をメモする。

**これからのわたしを表す文字を書く
(15分)**

- ・下書きの後、A3用紙とマジックペンを配布。（色は自由とするが、字のイメージや見やすさを考慮させる）
- ・選んだ文字を用紙いっぱい大きく、太い線で記入させる。
- ・用紙やマジックの準備、記入についてはグループ単位で行わせる。

**グループ内発表
(10分)**

- ・グループごとに前に出て、大書した作品を手を持ち、順番に発表する。
- ・ほかの生徒の発表を聞き、特に印象に残った作品をあげ、どこが良かったか、感想シートに記入する。

**全体での発表
(5分)**

- ・この授業で知ったことで自分の考えが変わったかどうか、文章にしてまとめる。

- ・漢字を記号ではなく、意味のある物として意識させる。

◆机間巡視し、生徒にアドバイスをする

- ・自分の思いを表現するのにふさわしい言葉、文字を考えさせる。
- ・将来に肯定的なイメージを抱かせ、前向きな印象を与える文字を選ばせたい。

◆大書する点での注意を伝える

- ・グループ構成は前時と同じ。
- ・マジックで周囲を汚さないように、ふざけないように指導する。
- ・できるだけ1度で、やり直しなしで書かせる。

◆グループワークのルールを確認

- ・メンバーは4～5人程度。
- ・ゆっくりと大きな声で話す。
- ・笑顔でメンバー全員を見回しながら話す。
- ・発言者の話をしっかり聞く。

◆発表をする姿勢、聞く姿勢について確認する。

- ・発表する生徒は、教室全体を見回しながら、ゆっくりと適切な音量で話す。
- ・ほかの生徒は、必要ならばメモをとりながら聞く。

3. 2015年度に担当された先生のインタビュー（抄録）

ここでは、2016年3月23日、2015年度の授業全体の振り返りと今後の授業のあり方を検討するミーティングの場で行われた簡単なインタビューを掲載します。2015年度に授業を担当された森山先生と村岡先生、また2016年度から新しく授業を担当される高田先生に、この授業でどんなことができるかと思い考えるかをお聞きしました。また、それにとどまらず、授業の難しさとしてルールをどのように考えればよいのか、ということについても話しあわれました。（聴き手：本間、桂ノ口、金）

○自分の表現を楽しめる空間

本間：「産業社会と人間（以下：産社）」をどんな授業にしたいですか？

村岡：うーん。一人ひとりがね、やっぱり、しっかり取り組んでくれる。教材によって違うんですけど、「一人ひとりがやれる授業」にしたい。…とは思んですけど、難しいからどうしたらいいかはわからない（笑）。けど、一人ひとりが楽しんで取り組める空間であるとか、内容であるとかっていうのは、目指してるところではあると思います。

本間：「一人ひとりが」とおっしゃったのは、「全員が一丸となって」というんじゃないくて…

村岡：一丸となる必要はないけど、でもそれぞれがそれぞれの表現で、楽しめる。自分の表現を、楽しめる空間。うーん、授業っていうよりは、空間ですかね。

○ルールに関する戸惑いについて

村岡：ただ、今年やってて、ずっと悩んでたのは、授業規律なんですよ。「どこ

までで止めたらいいいんか？」みたいなん。「僕、どこまで入っていいのか？」「ルールをふりかざして入っていいものなのか？」っていうところはすごい悩んでたので。

割と自由な感じの空間で、まあ、それはそれでありだったような気がするんですけど、他の授業と比べると明らかに自由すぎて。「何やってもいい」みたいな感じに思ってた子もかなりいてたから。その、「ルールを、どういう風に僕らは使っていったらいいいんか？」みたいなところが。「楽しめる空間」と「ルール」って、生徒らとしては微妙にあいいれへん。ルールがあったほうが楽しいのは間違いないんですけど、「どういうバランスがいいのかな？」っていうのが、まだ。ルールの使い方は、あったほうがやりやすかったかな、っていう。

本間：ルールとおっしゃっているのは、例えばどんなものですか？

村岡：例えば、いなくなった子が結構いてると思うんですけど。その子らは、授業中に私語をほかの先生に注意されたり、僕が授業中に飲食してるのを見つけ

て「こら！」って言うたら、それにハネて出て行ってしまった。それは、その瞬間には怒ったけど、実は僕はずっと前からちょっとずつ、怒らず言ってはいたんですよ。まあ「何をしてもありじゃないけど、萎縮してしまうよりはいいかな」と思って、ある程度容認してたんです。けど、そういうようなんは、どうなんかな？っていう。

はじめに、自分のルールの使い方の基準が決められなかったのが、どこからがセーフでどこからがアウトなのか？っていう、「この授業ではここからがあかんよ」というラインの決め方が難しかったな。楽しい空間っていうのは、それをうまく使えたら…。

まあ、ただ、それ教員の目線やから(笑)。生徒らにとってどうなんかな？っていうところは、もうほんまにね、分かれへんから。ほんで、あくまでルールって、使いたすのは教員やから。どうなんかな？って。この産社の授業になじむ、元々目ざしてるものになじむのかどうかっていうところはある。

本間：でも「こっからセーフでこっからアウト」というのは、必ずしもルールではないですよ。それはむしろ、全員でのケアというか、注意すべき配慮というか。みんなで場を維持するために必要なことってあると思うんですよ。で、それを簡単に「ルール」と言ってしまおうと、それは問答無用で守らなあかん、みたいな響きがあると思うので。

できたら、授業とか空間が成り立つために必要なことは、やっぱり確認したほうがいいと思う。それをいきなり「ルール」という仕方で導入するかどうかはま

た別問題というか。

だから「一人ひとりが楽しめる空間を作りたい。そのために、私たちがどんなことをしたらいいのか？どんなことができて、どこまでいくとアウトなのか？」って、そこをスタートにして作っていくと、最初におっしゃったことと一貫しているような。

たとえば、「人が一生懸命話しているときには聴こう」とかね。でもそれはルールじゃない。

村岡：そうですね。そういうのは「マナー」のうちやと思うんですけど。「この学校の生徒指導」とあるじゃないですか。ある。あるので。そこを教員が一個一個とっていいのかどうか、僕には分からない。

授業の前提の話なんで。この学校としてのルール。もうすでに、その空間の外っかわにはもう大きなルールってのがあって、そこがバシバシもう授業の空間のなかに入ってってるんですけど、それに触れたときに、「あっ」というので取って…今年はいかなかったです。あんまり。最後の方はひどかったんで、取っていったんですけど。

森山：わかるわかる。

村岡：その「みんなで決めるもの」じゃなくて、「すでにあるもの」があって。それを教員がどう運用するかっていうところは、どうしたもんかな？っていう。

本間：先生が導入するんじゃなくて、「自分はこういう場にしたいんやけども、この産社の時間以外にはこういうルール

が働いている。だとすれば、あなたたちは、このなかでどのルールを拾いあげるか」みたいなことを訊くのは難しいですか？

森山：いや、難しい。

村岡：そもそも、校則があること自体があんまり整合性がないから。その校則っていうところから言って考え始めると、結局はやりたいところのレベルがむっちゃ下がってしまうと思うんですね。最終的に僕らが、「じゃあなんでその校則を守らなあかんねん」っていうところに対しては、答えを示せない。まず「制服を着てこなあかん」ってこと自体も、まあ一応ルールとしてはあるけども、「じゃあなんで着てこなあかんねん」ってところを言い始めると、僕たちも「うーん」ってなってしまう。

森山：単位制、おるからね。単位制の子らは髪型で遊ぶの好きやし、服も好きに着てるし。つまり、全然違う価値観っていうかね。

村岡：矛盾。矛盾ですよ。学校が抱える矛盾。それに触れたから生徒指導で、っていうのは、そもそも、僕はね（笑）。まあどっちでもいいんですけど。ただ、学校としてルールがあって。他の授業ではそれが適用されてるんですよ。暴言とか、たとえば授業中にうるさくしたりすると、3回目で「もう次やったらあかんで」って言って、それでもやってしまったりすると「はい」って他の部屋に連れてかれて、なんかいろいろ話聴いて、とかいう手順があるんです。けど、

産社は、うるさくしないとできない子らもいてるし、それが彼らにとっての表現やったから。僕はそれを「これ、3回目やで」とか言うの、なじまへんかなと去年は思ってた。うん、やらなかったんですけど。

本間：産社の授業の中では、この授業以外では必ずしてることを、必ずしも導入されてないってことですよ。

村岡：はい。今年に限っては。

本間：それは生徒さんに言っていていいと思います？自分がそうしているって。

村岡：ああ、僕がですか。

本間：それを言うのと言わないのとは、全然違うと思うんです。単にスルーされているのか、「この時間だけは私はこういうことをしたいので、だからこの時間だけはいつもの『3回目に注意する』みたいなことはしない。けれども、何でもありではない」か。こういうことは、言えると思いますか？

村岡：うーん。そうですね。そうするとね、僕はそもそも基準をあんまり厳格に適用できるタイプの人間じゃないから、結局なし崩し的になってしまうかな、っていう。なんていうんですかね。まあ教員の力量の問題やと思うんですけど。

本間：でも意図はあって、「この場では表現することに重きを置いているので、他の授業では必ずしも認めていないような、ある種の騒がしさみたいなものも

許容する」とは言えますよね。それを言う、言わないはどうですか？

村岡：や、それをね、言って理解できるのであれば、いいと思うんですけど。「そこだけの限定やで」っていうのが、「そこがあるがゆえに全部をフリー」になるんやないか、と。

「いや、あの授業はああやないか」って。「いや、僕がそう言ってるからですよ」って言ったとして、彼らがそういうふうに、自分が言った言葉をちゃんと理解する、というか、使ってくれるかっていうと、ちょっと、うーん、疑問。そういう意味では、今年の産社ではちょっとやりすぎたな、フリーにしすぎたかな、っていう。「あの授業ではああやったのに」っていうのが、このまま2年生3年生まであがっていくと思うと、ちょっとやりすぎたかなあって（笑）。

森山：生徒が「産社はちがう」と思ってくれたら一番いいんちゃうん。

村岡：うーん、そこが。そこがねえ。

高田：それは最初に提示するかせえへんかちゃうんか？

村岡：いやー、最初に提示してね、分かるんやったら、要は授業で最初に言ったことは最後まで覚えてると思うんですけど、そうじゃないじゃないですか。自分がいいところだけしか取ってこないんで。僕らがよかれと思って言ってることを、その意味で使ってくれる子もいると思います。ただ、悪用するというか。別に悪じゃないんですけど、使い方を

えて、自分のいいように、っていう。うん、なんか、そこが産社やってて、辛かったですね。

桂ノ口：じゃあ、産社の授業は、来てる阪大生を完全に「先生」として立てて「この先生はこの学校の先生じゃないから、いつもの校則とはちょっと違うルールで、怒らへんこともある」って、元々[村岡先生は]怒るか怒らないかジャッジする立場じゃない、みたいに降りられたら楽なんですかね。

村岡：まあ、そうですね。いや、そうですね。そうですね。

本間：それはわれわれが来れたらね。

村岡：ただ、ねえ。その「できてる空間」が、学校のなかで占める位置が、生徒らにとってどういう位置にあるのかが、ちょっとあんまり分からへんから。

森山：でも反対に、「自由に表現しよう」という時に、全員座っていつも通りの中では、やっぱりなかなか自由な討論とか表現とか難しい。

私が思ってるのは、グループワークにしてしまったら、うるさいのはかき消されるし、ある程度なんでも許される。ただ、先生が前で話してる時には、やっぱり一斉授業の形やから、ある程度の規律みたいななんも必要。たとえば先生が前で話してる時に立ち歩きしたら、それはちょっと注意しなあかんかな、と思うけど、作業とかグループワークとかでは、ありかなと思うんですよ。その時に「隣の班にききにいったら必ず席につけ」とかは

あんまり言わなくていいかなと。なんていうか自由度が高いというか。だからそこはちょっと違うかな、と。

村岡：そうですね。グループワークになったとき。

本間：じゃあ、今ちょうど森山さんが話されたので、今度は森山さんのターンで。

○森山先生が授業で印象に残っている場面一切実なことについて一緒に考えた瞬間

森山：私が一番強烈、というかすごい印象に残ってるのは、最初の、ヴィクトリアさん [ロシアの哲学プラクティショナー] が来た時の2組の授業。もうすごい、なんていうかな、産社の醍醐味、じゃないけど。「この子らこんなに自分たちで話せるんや」というのがありました。フィリピンの子たちが日本語分からへんかったら、訳してあげる子がいて。で、ヴィクトリアさんと英語で話す子がいて。それをまた訳してくれる子もいて。まあ色々。その中で「コミュニケーションとコミュニティ」の違いを、自分たちで最後に見つけて。集中して話が出来たというか。まあみんながみんなじゃないけど、あの時に生徒たちに「今日はどうでしたか」って言ったら、「今日はすごく勉強になった」「楽しかったしいっぱい学んだ」というのが一番多かったんですよ。だから。あとにも先にも、あれ一回だけなんですけど。

金：他にもあった気はします。

森山：何回かあった？あー、まあ、そうですね。何回かありましたね。

何回かあったけど、あんなに長く、なんか緊張状態というか、人の話をしっかり聴いて、自分の意見も言って、ああいうことが維持できたのは、私も初めてやったしね。

まあ何回かあったと思います。ちょっと深くなって、というか、コアのところまでいけたところが。でも最初の「こういうことがこの子達にできるんや」というのは、いつもじゃないんですけど、すごく。

桂ノ口：ヴィクトリアさんが来た時のお話をもう少し聴かせてください。

森山：ヴィクトリアさんが来て、英語で話して。金さんがそれを翻訳して。でも、英語分からへんから、女の子が質問した。ヴィクトリアさんは「私がまだ話してるから、私の話を聴いて」と。ほんなら女の子達が、「私を無視した」みたいな感じで「先生、人の話聴きっていうけど、全然聴いてくれへんやん」って。ほんなら、フィリピンの男の子英語話せるから「今はヴィクトリアさんが話す番で、話した後、また」っていう話とかをこう。で、ほんなら「そら、あんたらは英語がわかるからええよ」とか、そこで議論が始まって。で、一旦、「あなた [ヴィクトリアさん] は傍観者だ。これは円にならないといけないから、あなたも入りなさいよ」って女の子が言って。一方的に話すだけじゃなくて。でもなんか「私は違う」とか言って出て行って。ほな「なんなん、あの人?!」みたいなんで、みんなで円になって。

金さんがその時に、「じゃあ、話を聞いてもらえないってどう思う？君らは話聞いてもらえなかったやろ？」っていうのを出して。それに対して「悲しい」とか、「興味もたれてない」とか、「失望」とか、「いらいらする」「さっきいらいらしてた」とか。「私が質問したのに無視された」って。あの、2組の子らは「先生、無視する」「とりあえず聞いてほしい」とかってね、よく言うんです。

で、「ほな、無視されたらどんな気持ちにする？」って訊いたら、「集中力がなくなる」とか、まあ「何とも思わない」とか言う子もあったんですけど、「もっとリスペクトしてほしい」とかね。

なら、私がコミュニケーションボールって言い間違えたのかな。

金：そうそう、コミュニケーションボールとコミュニティボールっていうので、ずっとなんかこう。

森山：そう、色々なってたから。で、金さんが「いや、これはコミュニティボールや」って。

「じゃあどう違うんやろう？」って言ったら、日本人の女の子が、「コミュニケーションは話すことや」と。で、フィリピンの子が「コミュニティっていうのは、話してる人のことをリスペクトすることや」と。そしたら誰かが、「あ、ヴィクトリアさんは、コミュニケーションじゃなくて、なんかこれを求めてたんや」とかね。なんか自分らが、すごくどんどん話が進んでいった。色んな子をいれて。それって、1回か2回くらいかぶせることはあったけど、が一ってなったのはちょっと初めて。

本間：うん。それはハワイ p4c の言葉で言うと、「探究する inquiry」っていうことが皆でできたっていうことだと思うんですけど。

森山：うん、そうです。聞いてた子、そのとき発言しなかった子らも、すごく「勉強になった」とか、「楽しかった」とか「考えが深まった」とかの感想で。

本間：多分、その場ですごく切実なことだったと思うんですよね。その切実なことに対して、ことばをあてがいたっていう人間の自然な欲求があって、それが皆さんを多分駆動したんじゃないかと思えますけど。でもそれを、なんか「探究」って言葉を、あらかじめ分かりやすく説明するのは難しいですよ。

森山：まあ2、3回ちょちょっとね、そういうのはあるけどね。でもそんなに続いてた皆さんの。その時は円になってたしね。これ [その時の発言をまとめ、英語も書かれている紙] も私が書いたんじゃないなくて、生徒が「わたしが書こか」とか。だからこんな [イラストが添えてある]。自分らで描きたしたから。よく2組は書いたりしてくれんねんね。

金：それぞれが、話したりとか、円の中で話すん苦手でも参加のしかたを見つけてくれてたから。

森山：つまりさっきので言うと、別にみんなかでべたっと座ろうが、後ろにいて書こうが、結構そのへんは見えなくなってるんです。授業規律がね。一斉授業

を壊してるから。

本間：でもみんなで考えていた？

森山：考えていた。うん。書く子がおり、円じゃない子もおったけど、でも話は聴いてた。

本間：うん。じゃあそれは、それぞれがそれぞれの仕方に参加してたってことですか？

森山：うーん、もしかしたら参加してない子もおったかもしれへんけど、私はあの時、安心できるスペースとか考えてなかったと思うけど、なんか彼らは必死で考えてたと思います。

で、ちょっと楽しんでたかな。
だからこの時は、すごい印象に残ってるのかな。私も楽しいと思ったし。

本間：じゃあやっぱり「楽しむ」っていうのも二人共通の言葉だけでも。でも「楽しみましょう」って言ったら、「じゃあ好きにしていいいんや」って。

森山：そう。生徒はそう思うと思います。質が違うからね。

本間：うん。それをどんなふうに表示されますか。

森山：なんやろう。でも、他の授業で、「前にみんなこんなん言ってたやん」とか言ったら「え？そんなん忘れた」って。もう全然（笑）。それで、またおもしろいのがね、「え？聴いてもらわれへんかったらいらいらするとかって言ってた

やん」とかってこれ[発言をまとめた紙]貼るんですけど、もう次に行った時には通用しない。ふふふふ。

本間：それはね、言葉っていうのはその場において切実な言葉だと思うんです。

森山：生きてる。

本間：その時には言葉が非常に生きていて、その人達にとって必要で、切実であったと。文脈や状況が変わったら、それは変わってきますよね。

でもそれをどうやったら理解してもらえるんですかね、生徒さんに。

森山：たとえばさっきのでいうと、人を傷つける言葉とか、「死ね」とかね、授業中に出るんですよ。「その言葉は人を傷つけるからやめよう」は、絶対どうなっても言うんですね。もうそれは、あかんから。楽しくないから。

それで「言われて嬉しい言葉、言われて厭な言葉」とかやってて。ほんなら「先生、分かってるねん。分かってるけど出てしまうねん」とかって。

○ことばを大切にせる授業

本間：じゃあたとえば、「この授業ではことばを大切にします」とか、そういう言い方どうですか。

森山：ああ。

本間：「してはいけない」とか「ルール」とか言いだすと、「どこまで」っていうライン引きの話になるので、ライン引き

の話じゃなくて「この授業ではこういうことを大切にします」って。

今日の村岡先生の言い方を借りると、「空間。授業というよりは一人ひとりがそれぞれの仕方で楽しめる空間であることを大切にしています」とか。そういう、「～～を大切に。そのためには皆さんの協力が必要で、ここは協力してほしい」という言い方はいかがでしょうか。「だからその点では、他の授業とは先生の言い方とか関わり方も違うかもしれないけども、その違いがどういう意味をもつのかはちゃんと考えてほしい」と。

で、その受け止め方は一旦、生徒さん一人ひとりによってさまざまなんですけども、なんでもありじゃなくて。「先生が大切にしようとしてること、それをみなさんがどう理解されるかっていうのはこの授業を通して1年間かけて考えていきたい」みたいなことを。

ちょっと今の言い方は難しいと思うんですけど、基本はそういうことを、先生方が言いやすいしかたで。

森山：まあ「これしたらあかん、あれしたらあかん」よりかは「～～を大切にしています」のほうがね。